

救出データ復元 12 シリーズ (Windows 版) マニュアル

※本製品は「Stellar Information Technology Pvt.Ltd」の「Stellar Data Recovery シリーズ」の一部の機能を変更し、「救出データ復元 12」シリーズと改題したものです。また、ヘルプや製品内に、本製品の機能や名称と一部異なる記述がありますので、あらかじめご了承ください。

目次 - Stellar Data Recovery

| | |
|--|----|
| 1. Stellar Data Recovery について | 6 |
| 2. データ復旧の基本と一般的なシナリオ | 7 |
| 3. ガイドについて | 9 |
| 4. はじめに | 10 |
| 4.1. ユーザーインターフェイスに慣れる | 11 |
| 4.2. ボタンに慣れる | 12 |
| 4.3. ソフトウェアのアクティベート（有効化） | 14 |
| 5. ソフトウェアの使い方 | 18 |
| 5.1. 既存ボリュームからのデータ復元 | 20 |
| 5.2. 紛失したドライブ・未割り当てパーティションからのデータ復元 | 29 |
| 5.3. CD/DVD からのデータ復元 | 31 |
| 5.4. 消失したパーティションの復元 | 34 |
| 5.5. クラッシュしたコンピューターからデータを回復する | 38 |
| 5.6. ディスクイメージ（Disk Images）について | 41 |
| 5.6.1. イメージファイルの作成 | 42 |
| 5.6.2. 既存イメージからのデータ復元 | 46 |
| 5.7. スキャン（検索）結果のプレビュー | 51 |
| 5.7.1. プレビューでサポートされているファイル形式 | 53 |
| 5.8. ファイルの復元と保存 | 54 |
| 5.8.1. 高度な回復オプションを使用する | 56 |
| 5.9. 詳細スキャン | 59 |
| 5.10. スキャン（検索）情報の保存 | 61 |
| 5.11. 詳細設定の構成 | 63 |
| 5.11.1. プレビュー設定 | 65 |
| 5.11.2. ファイル形式の選択 | 66 |
| 5.11.3. ファイル形式の追加/編集（修正） | 67 |
| 5.11.4. 保存したスキャン情報の復元処理の再開 | 70 |
| 6. よくある質問（FAQ） | 73 |

目次 - Stellar Drive Monitor

救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. Stellar Drive Monitor について | 79 |
| 2. ユーザーインターフェイスの詳細 | 80 |
| 2.1. ボタンの使い方 | 81 |
| 3. ソフトウェアの使い方 | 82 |
| 3.1. ディスクステータス | 83 |
| 3.2. SMART ステータス | 84 |
| 3.3. ディスクパーティション | 87 |
| 3.4. スキャンディスク | 88 |
| 4. よくある質問 | 90 |

目次 - Stellar Repair for Photo

救出データ復元 12 STANDARD および BASIC には本機能はありません。

| | |
|--|-----|
| 1. Stellar Repair for Photo について | 93 |
| 2. ユーザーインターフェイス | 94 |
| 2.1. ボタン | 95 |
| 3. ソフトウェアの使い方 | 97 |
| 3.1. 画像ファイルの追加 | 98 |
| 3.2. 画像ファイルの修復 | 100 |
| 3.3. 高度な修復 | 102 |
| 3.4. 画像ファイルのプレビューと保存 | 105 |
| 4. よくある質問 | 107 |

目次 - Stellar Repair for Video

救出データ復元 12 STANDARD および BASIC には本機能はありません。

| | |
|--|-----|
| 1. Stellar Repair for Video について | 109 |
| 2. ユーザーインターフェイス | 110 |
| 2.1. ボタンの使い方 | 111 |
| 3. ソフトウェアの使い方 | 112 |
| 3.1. 動画ファイルの追加 | 113 |
| 3.2. 動画ファイルの修復とプレビュー | 115 |
| 3.3. 高度な修復 | 117 |
| 3.4. 修復したファイルを保存 | 119 |
| 4. よくある質問 | 121 |

使用許諾条件書

| | |
|---------------|-----|
| 使用許諾条件書 | 122 |
|---------------|-----|

1.Stellar Data Recovery について

Stellar Data Recovery は、デスクトップやノート PC に使用されているハードディスクドライブ (HDD)、外付 HDD、SSD、SD などのメモリーカード等の、あらゆる種類のストレージ機器から失われたデータを復元する解決手段を提供します。

このソフトウェアの強力な検索機能は、選択したストレージ機器の完全なスキャンを行い、動作中に検出したファイルのプレビューを表示し、指定された場所に保存します。ストレージ機器からドキュメント、フォルダ、メール、またはミュージック、画像・動画などのマルチメディアファイルを個別に復元するためのオプション機能も用意しています。

Stellar Data Recovery は、作業の途中で検索結果情報を一度保存し、データ復元作業を後で再開することもできます。

主要機能：

- 1.ファイルの復元：誤って削除したファイルをすべて復元。
- 2.紛失したドライブ・未割り当てパーティションからの復元：ハードディスク上の未割り当てのパーティション、未初期化パーティション、未確認パーティション、RAW パーティションからデータを復元します。
救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。
- 3.起動不能となった OS /コンピュータからのデータ復元：システム起動が可能なりカバリードライブを作成して、クラッシュした OS やコンピュータからデータを復元するオプションを提供します。
Windows のすべてのバージョンからの復元に対応。
救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。
- 4.Raw Recovery 対応：ファイルシグネチャーに基づいてボリュームや HDD 内部のデータを検索する Raw recovery 機能。
- 5.詳細スキャン：“詳細スキャン”は総合的なファイルシグネチャーに基づいた検索を実行し、損傷の厳しい場合でもデータ復元機能を最大限に実行します。“詳細スキャン”は、通常の見出しでできなかったファイルの復元に特に有効です。
- 6.特定ファイルの検索：論理ドライブや特定のフォルダ内の特定の種類のファイルの検索機能。
- 7.特定フォルダの検索：特定のフォルダ内の消失・削除データの検索機能。
- 8.イメージの作成：データ復元用の HDD や論理ドライブのイメージファイルの作成。
救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。
- 9.プレビュー：ほとんどの種類のファイルを復元前にプレビュー可能。
- 10.復元動作の保存と再開：“復元動作の保存と再開 オプション”を使用すると復元作業中断後に再度検索処理を行なうことなく作業の再開が可能。
- 11.BitLocker 対応：“BitLocker”による暗号化ドライブに対応。
- 12.対応 File System：下記の複数のファイルシステムに対応。
 - o Windows . NTFS, FAT, FAT16, FAT32, exFAT.
 - o CD/DVD . CDFS, UDF, HFS+.
- 13.複数ファイルシステムの同時検索：複数のファイルシステムに対して同時スキャンに対応し、最高の検索結果を発揮。
- 14.対応可能ファイルタイプ：初期状態で 300 種類以上のファイルに対応し、ファイルタイプの新規追加と編集（修正）にも対応。
- 15.複数種類のドライブに対応：デスクトップやノート PC だけでなく外付 HDD や USB メモリ、SD 等のメモリーカード、SSD などにも対応。
- 16.OS：Windows 11, Windows 10, Windows 8.1 との互換性を保持。

2. データ復旧の基本と一般的なシナリオ

データ復旧の概要：

定義上、データリカバリは、ストレージメディアに保存されているデータに通常の方法でアクセスできない場合に、ストレージメディアからアクセスできない、失われた、またはフォーマットされたデータを取得するプロセスです。

ストレージメディアは、内蔵または外付けハードディスクドライブ (HDD)、ソリッドステートドライブ (SSD)、USB フラッシュドライブ、CD、DVD、RAID サブシステム、およびその他の電子デバイスです。ディスクまたはデバイスが物理的に損傷していない場合は、Stellar Data Recovery がデータを復元する解決手段を提供します。Stellar Data Recovery を使用してデータ復旧が可能な最も一般的なシナリオを以下に示します。

一般的なデータ復旧シナリオ：

もっとも一般的なデータ復旧シナリオは、オペレーティングシステムの障害、ストレージデバイスの誤動作、ストレージデバイスの論理的な障害、偶発的な損傷または削除などです。(一般的には、シングルドライブ、シングルパーティション、シングル OS システムで発生します)。このような場合、Stellar Data Recovery を使用して、損傷したメディアから別の新しいドライブにすべての重要なファイルを回復できます。

別のシナリオには、ファイルシステムやドライブパーティションの侵害などのドライブレベルの障害、またはハードディスクドライブの障害が含まれます。これらのいずれの場合でも、データはメディアデバイスから簡単に読み取ることはできません。状況に応じて、Stellar Data Recovery はドライブパーティションを取得し、データを回復することができます。3 番目のシナリオは、ファイルがストレージメディアから誤って「削除」された場合です。一般的に削除されたファイルの内容は、物理ドライブからすぐには削除されません。代わりに、ディレクトリ構造内のそれらへの参照が削除されます。削除されたファイルは、標準のファイルマネージャでは検出できませんが、削除されたデータは厳密には物理ドライブ上に存在しており、他のデータファイルで上書きされていないければ、Stellar Data Recovery で復元できる可能性があります。

Stellar Data Recovery がデータの回復に役立つ、データ損失の他の一般的なシナリオを以下に示します。

- ・「ハードウェアの安全な取り外し」オプションを使用せずに、外付けハードドライブや USB サムドライブを取り外した場合。通常、これは元のファイルシステムの破損につながり、RAW になってしまいます。このようなストレージデバイスをコンピュータに再度接続すると、「使用する前にドライブでディスクをフォーマットする必要があります」というメッセージが表示される場合があります。ストレージデバイスからデータを回復するまでは、絶対にフォーマットしないでください。通常、元のファイルシステムの種類に関係なく、RAW ファイルシステムデバイスからデータを回復するのは簡単です。
- ・もう 1 つの一般的なシナリオは、ディスクを誤ってフォーマットしたか、間違ったパーティションを削除したことです。回復の成功は以下に依存します：
 - 使用したフォーマットタイプ-クイックフォーマットや完全フォーマットなど。
 - 元のファイルシステムタイプ-NTFS、FAT、FAT16、FAT32、exFAT、Ext2、Ext3、Ext4、HFS、HFS+、および APFS ファイルシステムは、Stellar Data Recovery でサポートされています。
- ・誤って 1 つのファイルを削除してしまいました。リカバリの品質は、ファイルを削除した後、ディ

スクの使用を停止した速度によって異なります。

. Windows を再インストールした後、貴重なデータがドライブにあることに気がきました。データ回復の成功は、新しいインストールで作業していた期間などの要因によって決まります。ディスクを使用すればするほど、データを回復する機会が少なくなります。

最初のアクション：

データ復旧を計画する方法-

貴重なデータが失われていることに気付いた場合、問題を修正するために最初にする行動によって、かえって状況を悪化させてはいけません。

- 1.まず、影響を受けるデータにそれ以上の変更が加えられていないことを確認します。データを回復したいボリュームにファイルを保存しないでください。オペレーティングシステムがロードされるのがシステム（ブート）ボリュームである場合は、コンピューターをシャットダウンするのが最善です。コンピューターの使用をやめるだけでは十分ではありません。
- 2.ドライブまたはシステムが保護されたら、何が失われ、どこにあったかを特定する必要があります。この情報を1枚の紙に書き留めておくことをお勧めします。
- 3.回復したいデータがわかったら、Stellar Data Recovery をインストールします。
- 4.問題がないことを確認し、データの回復を実行します。Stellar Data Recovery を使用してデータを回復する方法については、このマニュアルの「ソフトウェアの操作」セクションを参照してください。システム（ブート）ボリュームからデータを回復するために、Stellar Data Recovery を使用して別のコンピューターにブート可能な回復ドライブを作成できます。ブート可能なリカバリドライブは、USB ドライブでシステムを起動して、失ったデータの回復をすることができます。。
- 5.リカバリが完了したら、それ以上のアクションを実行する前に、リカバリされたデータが読み取り可能であることを確認してください。

ヒント：問題の原因が明確に特定されていない限り、データ損失に関するディスクの再利用は避けてください。そうしないと、もう一度失敗する可能性があります。

3. ガイドについて

このユーザーガイドには Stellar Data Recovery のさまざまな機能を支援する手順が含まれています。各機能については、対応するセクションで詳しく説明しています。

このガイドでは、次の主要なトピックについて説明します。

1. Stellar Data Recovery
2. Stellar Drive Monitor
3. Stellar Repair for Photo
4. Stellar Repair for Video

このガイドには、ナビゲーションと理解を容易にするための次の機能があります。

- ・このガイドのいくつかのトピックには、理解を深めて作業を簡単にするための注意事項とヒントがあります。これらの注意事項とヒントはイタリック体で示されています。

4. はじめに

- . ユーザーインターフェイスに慣れる
- . ボタンに慣れる
- . ソフトウェアのアクティベート（有効化）

4.1. ユーザーインターフェイスに慣れる


Stellar Data Recovery のメイン画面は非常に効果的に使いやすくシンプルになっています。ソフトウェアを起動すると、復元対象を選択 画面が表示されます。



メイン画面には以下の 3 種類の復元オプションがあります：

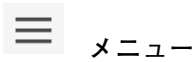
- 1.すべてのデータ: 特定のドライブ又は指定した場所から全てのデータを復元します。
- 2.ドキュメント、フォルダおよびメール: 種々のメールソフトのメール、オフィス文書、ファイル、フォルダを復元します。
- 3.マルチメディアファイル: 画像、オーディオ、ビデオを復元します。

また、ユーザーが素早くメニューにアクセスできるボタン も用意されています。

Stellar Data Recovery の追加ツールにすばやくアクセスするには、メインインターフェイスの右上隅にある (その他のツール)  アイコンをクリックします。

4.2.ボタンに慣れる

Stellar Data Recovery の主なボタン/アイコンは以下の通りです。

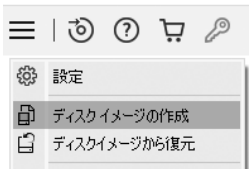


メニュー

このボタンをクリックすると、「設定」「スキャンを保存」「復元を再開」「この製品について」などのメニューにアクセスできます。



設定 このボタンをクリックして、一般、ファイルタイプ、およびリカバリ設定を構成します。



ディスクイメージの作成 さまざまなストレージデバイスのイメージを作成し、IMG ファイルとして保存することができます。



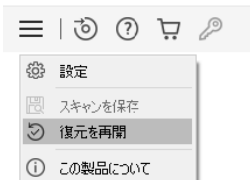
ディスクイメージから復元 新しく作成されたディスクイメージや以前に作成されたディスクイメージからデータを復元します。









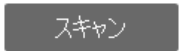



スキャンを保存 このボタンをクリックしてスキャン情報を保存し、後の段階でリカバリを再開します。



復元を再開 スキャン情報ファイルを使用してリカバリを再開するには、このボタンをクリックします。



この製品について このボタンをクリックして、アプリケーションに関する情報を表示します。

- | | | |
|---|------------------|---|
|  | ヘルプ | このボタンをクリックして、ユーザーヘルプガイドを開きます。 |
|  | オンラインで購入 | ボタンをクリックして、ソフトウェアをオンラインで購入します。 |
|  | アクティベーション | このボタンをクリックして、ソフトウェアをアクティブにします。 |
|  | バック | このボタンをクリックすると、現在のウィンドウから前の画面に移動します。 |
|  | ホーム | このボタンをクリックすると、いつでもメイン画面に戻ることができます。 |
|  | 次へ | このボタンをクリックすると、次のウィンドウに移動します。 |
|  | スキャン | このボタンをクリックして、スキャンプロセスを開始します。 |
|  | 停止 | このボタンをクリックすると、いつでもスキャンプロセスを停止できます。 |
|  | 復元 | スキャンしたデータを保存するには、このボタンをクリックします。 |
|  | | Stellar Data Recovery に関連する追加のツールにアクセスするには、このボタンをクリックしてください。クリックすると、本製品の その他のツール にアクセスすることができます。 |


4.3. ソフトウェアのアクティベート（有効化）


オンライン・アクティベート（有効化） -

このソフトウェアの全機能を使用するためにはアクティベートすることが必要です。同梱の「製品シリアル番号票」に記載されているアクティベーションキー（Activation Key）を使用してアクティベート（有効化）してください。

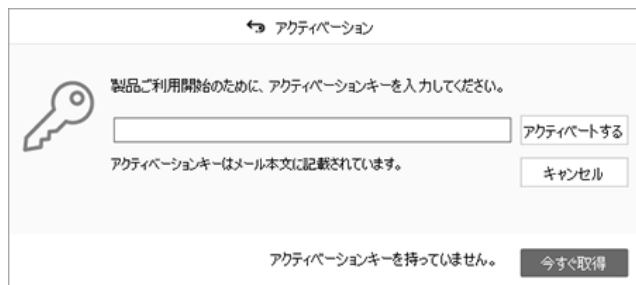
ソフトウェアのアクティベート方法:

1. 本製品を起動します。

2. メニューバーから[アクティベーション]  ボタンをクリックします。

注：または、[メニュー]  アイコンをクリックして、[設定] オプションを選択します。[詳細設定] ウィンドウが表示されたら、[アクティベーション] アイコンをクリックします。

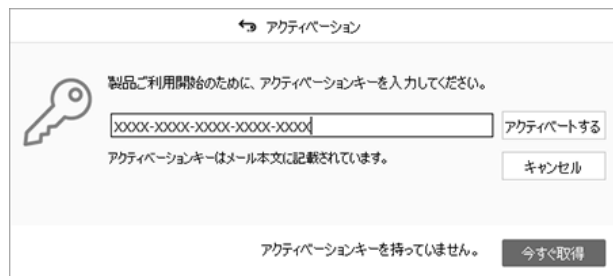
3. デフォルトでは、オンライン アクティベーション タブが選択されており、以下のような画面が表示されます。



注：

- ・アクティベーションキーをお持ちでない場合は、画面内の[今すぐ取得]ボタンをクリックして製品を購入してください。
- ・注文が確認されると、アクティベーションキーが提供されます。

4. 製品購入後にメールでお届けしたアクティベーションキーを入力（貼付）し、[アクティベートする] ボタンをクリックします。




- 5.入力したアクティベーションキーの検証が成功すると、ソフトウェアがアクティベートされます。
- 6.「Stellar Data Recovery が正常にアクティベートされました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

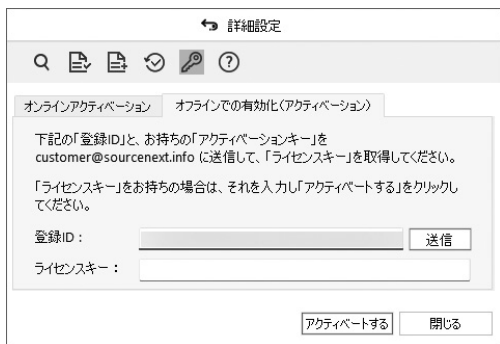


オフライン・アクティベート（有効化） -

オフライン・アクティベートは、オンライン・アクティベートができない場合にマニュアル（手動）で有効化する方法です。

オフライン・アクティベート方法:

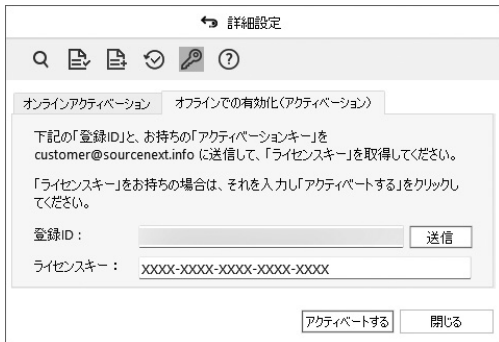
1. Stellar Data Recovery を起動します。
- 2.メニューバーから[メニュー]  アイコンをクリックし、[設定]オプションを選択します。[詳細設定]ウィンドウが表示されたら、[アクティベーション]アイコンを選択します。オンラインアクティベーションとオフラインアクティベーションの2つのタブがあるウィンドウが表示されます。
- 3.[オフラインアクティベーション]タブをクリックして続行します。



- 4.ウィンドウ内に登録用 ID（Registration ID）が発行されます。ライセンスキー（License Key）を発行するためには、ソフトウェアの購入後に受け取った登録 ID（Registration ID）とアクティベーションキー（Activation Key）の両方を含むメールを customer@sourcenext.info に送る必要があります

注: 送信（Send）ボタンをクリックして、登録 ID（Registration ID）を含むメールを自動的に発行することもできます。このメールにマニュアル（手動）でアクティベーションキー（Activation Key）を追加し、customer@sourcenext.info に送信してください。

5. ソースネクストの担当者がメールの内容詳細を確認し、確認が完了するとライセンスキー (License Key) が返信されます。
6. オフライン・アクティベーション (Offline Activation) ウィンドウにライセンスキー (License Key) を入力し、アクティベートする (Activate) をクリックします。



7. Stellar Data Recovery が正常にアクティベートされました！のメッセージが表示されたら、OK をクリックします。



5. ソフトウェアの使い方

Stellar Data Recovery は、データを復元するために何種類かの異なる方法を提供します。データを復元するためには、最初にHDDかボリュームのスキャンをすることが必要です。もし、データの復元のために以前に作成した情報やイメージファイルを使用したいのであれば、Stellar Data Recovery はオプション機能として、それらをスキャンする機能を持っています。スキャンを行った後、復元を行う前にスキャンを行ったファイルを確認することができます。また、復元したいファイルのフィルタリング、検索、選択することができます。その後実際に必要なファイルを選択・復元し、指定のフォルダに保存することができます。



Stellar Data Recovery を使用して特定のデータを復元するために、以下のようなオプションが用意されています。





- すべてのデータ . 指定した HDD や記憶媒体に現存、或いは削除されてしまった、全ての文書、ファイル、フォルダを復元することができます。
- ドキュメント、フォルダおよびメール . 消失或いは削除してしまった文書、フォルダやその内容やメールを復元します。
- マルチメディアファイル . 削除或いは消失してしまった画像、オーディオ、ビデオファイルのようなマルチメディアファイルを復元することができます。

このソフトウェアでは、接続されているドライブ、またはシステムに接続されているドライブまたは記録媒体上の特定の場所を選択することもできます。以下の選択オプションが用意されています。




- 共通の場所 . デスクトップ、マイドキュメントなど選んだ任意の場所からスキャンを行います。
- 接続されたドライブ . システム内のドライブ、接続されている全ての外付け記録媒体、認識できないドライブ (Can't find Drive) オプションも対象とします。




A. ドライブアイコンとその識別:

| アイコン | 識別 |
|--|---|
|  ロックアイコン | ディスク上の ロックアイコン は、ドライブがBitLocker暗号化されていることを示します。 |
|  マイナスアイコン | ディスク上の マイナス記号のアイコン は、紛失した ドライブ/未割り当てボリューム を示します。 |
|  警告アイコン | ディスク上の 警告アイコン は、ディスクまたはボリュームの SMART ステータスを示します。このアイコンは、ディスクの健全性ステータスが良好から不良に変更されたときにディスク上に表示されます。 |
|  クエスチョン・マーク・アイコン | ディスク上の クエスチョン・マーク・アイコン は、「 ドライブが見つかりません 」機能を表します。この機能を使って、失ったパーティションからデータを復元することができます。 |

B. ドライブのシンボルとその識別:

| シンボル | 識別 |
|---|---|
|  Windows シンボル | Windows シンボルは、ハードディスクのブート可能なボリュームを示します。 |
|  シンボルなし | シンボルなしのディスクは、接続されたドライブの既存ボリュームを示します。 |
|  ディスクのシンボル | ディスクのシンボルは、CD/DVD ボリュームを示します。 |
|  ケーブルのシンボル | ケーブルのシンボルは、外部ストレージメディアのボリュームを示します。 |

C. ドライブバーとその識別:

| バー | 識別 |
|--|---|
|  緑色のバー | 緑色のバーは、ディスクの健康状態が良好であることを意味します。 |
|  赤色のバー | 赤色のバーは、ディスクの健全性の状態が悪いことを示します。 |
|  青色のバー | 青色のバーは、SMART ステータスがドライブでサポートされていないことを意味します。 |

注: ドライブは、任意のアイコンまたはバーの組み合わせとすることができます。

パソコン上のHDDから消失してしまったボリューム（論理ドライブ）からデータ復元することもできます。認識できないドライブ (Can't Find Drive) オプションはHDDから削除された全てのボリュームを一覧表示することができます。

ソフトウェアの使い方は以下の項目を含みます。

- ・既存ボリュームからのデータ復元
- ・CD/DVDからのデータ復元
- ・消失したパーティションの復元
- ・クラッシュした（起動しない）コンピュータからのデータ復元
- ・ディスクイメージ（Disk Images）について
- ・スキャン（検索）結果のプレビュー
- ・ファイルの復元と保存
- ・詳細スキャン
- ・スキャン（検索）情報の保存
- ・詳細設定（Advanced Settings）の設定方法

5.1. 既存ボリュームからのデータ復元

Stellar Data Recovery は、システムに接続されている HDD や外付け記録メディアから、削除または消失したデータを復元することができます。選択したボリュームまたはリムーバブルメディアに対して復元処理を実行すると、NTFS、FAT、FAT16、FAT32、および exFAT ファイルシステムに対応しているので、そのボリュームに存在したほとんどすべてのデータを見つけることができます。

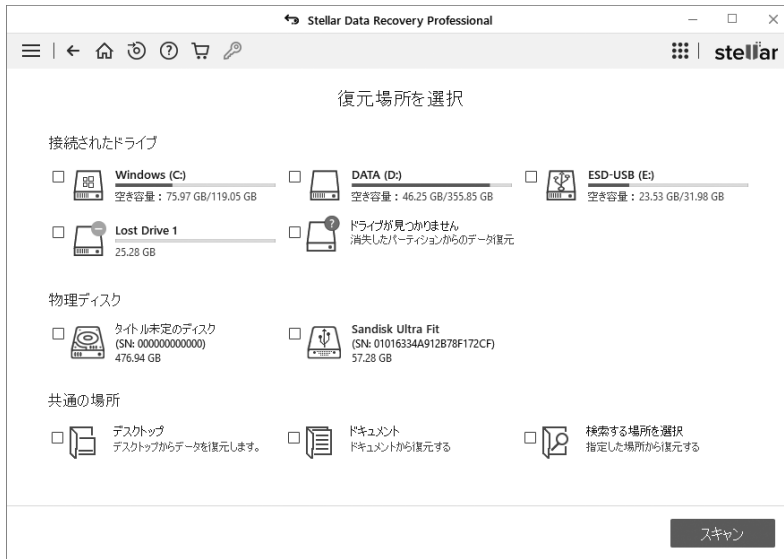
既存ボリュームのスキャン方法:

1. Stellar Data Recovery を起動します。
2. 復元対象を選択 画面で、復元を希望するデータの種別をすべてのデータ、ドキュメント、フォルダ およびメール または マルチメディアファイルから選択します。



3. 次へをクリックします。

4.復元場所を選択画面で、共通の場所か接続されたドライブから復元するデータをスキャンする場所を選択します。特定のフォルダをスキャンする場合は、共通の場所から検索する場所を選択を選び目的の場所を参照し、スキャンするフォルダを選択して選択をクリックします。



ヒント： Stellar Data Recovery は、接続されたドライブの温度と正常性の詳細を表示することができます。これらを表示するには、復元場所を選択画面で特定のドライブにマウスカーソルを移動します。温度と正常性の詳細は、次のようにツールチップ内に表示されます。

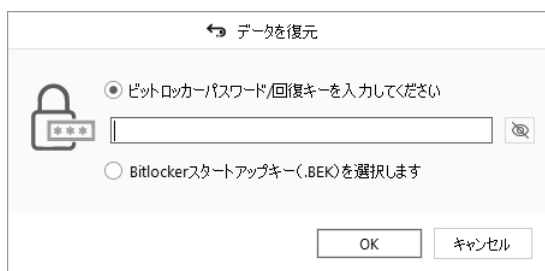



5.[スキャン]をクリックすると、画面上にスキャンの状況が表示されます。停止 をクリックするといつでもスキャンを止めることができます。

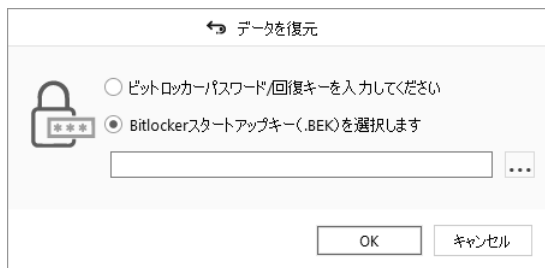


注意：BitLocker を使用して暗号化されたドライブをスキャンする場合は、BitLocker のパスワード/リカバリキーを入力するか、BitLocker のスタートアップキー (.BEK ファイル) を選択するように求められます。次のいずれかの手順を使用して、スキャン プロセスを開始します。

- ・指定されたテキストボックスに Bitlocker のパスワード/リカバリキーを入力し、[OK]をクリックします。



- または、[Select Bitlocker Startup Key (.BEK)] ラジオボタンを選択します。  をクリックして、.BEK ファイルを参照して選択し、[OK]をクリックします。



6. スキャンが完了すると、検出されたファイルとフォルダの詳細が下図のようにダイアログボックス内に表示されます。



7. 検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。

注意： スキャン結果の情報を保存し、後で復元処理を再開する場合はスキャン（検索）情報の保存を参照してください。

既存ボリュームの詳細スキャン（Deep Scan）：

詳細スキャンを実行すると、復元目的のデータが見つからない場合に、選択したボリュームを総合的にキャンセルすることができます。

1. Stellar Data Recovery を起動します。

2.復元対象を選択 画面で、復元を希望するデータの種別をすべてのデータ、ドキュメント、フォルダおよびメール または マルチメディアファイルから選択します。



3. 次へをクリックします。

4. [復元場所を選択]画面で、[接続されたドライブ]を選択します。



5.画面下方左側の[詳細スキャン]スイッチを有効にします。



6.[スキャン]をクリックすると、画面にスキャンの状況が表示されます。



注意：:BitLocker を使用して暗号化されたドライブをスキャンする場合は、BitLocker のパスワード/リカバリーキーを入力するか、BitLocker のスタートアップキー (.BEK ファイル) を選択するように求められます。次のいずれかの手順を使用して、スキャン プロセスを開始します。

- 指定されたテキストボックスに Bitlocker のパスワード/リカバリキーを入力し、[OK]をクリックします。



- または、[Select Bitlocker Startup Key (.BEK)] ラジオボタンを選択します。をクリックして、.BEK ファイルを参照して選択し、[OK]をクリックします。



7. スキャンが完了すると、検出されたファイルとフォルダの詳細がダイアログボックス内に表示されます。



8. 検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。

注意： スキャン結果の情報を保存し、後で復元処理を再開する場合はスキャン（検索）情報の保存を参照してください。

注意： 一回の復元処理に対して選択できるボリュームは1つだけです。詳細スキャンは、接続されたドライブのみ適用されます。クイックスキャンを実行する場合は、詳細スキャンを無効にすることができます。

5.2. 紛失したドライブ・未割り当てパーティションからのデータ復元

Stellar Data Recovery は、接続されたハードディスクから紛失したドライブ・未割り当てパーティションの場所を特定し、データを復元することができます。ドライブレターが割り当てられていないとき、パーティションが誤って削除されたとき、ファイルシステムが損傷または破損したときにパーティションが未割り当て（RAW）になります。未割り当てのパーティションはPCのドライブの下に表示されないため、このパーティションからファイルにアクセスすることはできません。

Stellar Data Recovery を使用すれば、失われたデータを未割り当て領域から復元し、ファイルやフォルダに簡単にアクセスすることができます。この機能は RAW 復元で動作し、失われたデータを未割り当てのパーティションから復元します。

注：NTFS、FAT、exFAT 以外のファイルシステムになっているパーティションは非サポートのため、失われたドライブまたは未割り当てのパーティションとして表示されます。

紛失したドライブからデータを復元する手順:

1. Stellar Data Recovery を起動する。

2. 「復元対象を選択」画面で、復元したいデータの種類（すべて、ドキュメント、フォルダおよびメール、マルチメディアファイル）を選択する。



3. 「次へ」をクリックする。

4. 「復元場所を選択」画面で、「接続されたドライブ」セクションから「紛失したドライブ」を選択する。



注：ハードディスクに複数の未割り当て領域がある場合、「接続されたドライブ」の下に「紛失したドライブ 1」「紛失したドライブ 2」などと表示されます。回復のために一度に選択できるのは、1つの紛失したドライブのみです。

5. [スキャン] をクリックすると、スキャン中の画面が表示されます。



注：[停止] をクリックすれば、いつでもスキャン処理を停止することができます。

6. スキャンが完了すると、検出されたファイルやフォルダの詳細がダイアログボックスに表示されます。

7. スキャンしたデータをプレビューして復元する方法については、「スキャン結果のプレビュー」と「復元したファイルの復元と保存」を参照してください。

5.3. CD/DVD からのデータ復元

CD/DVD ディスクは、熱、ほこり、ディスクの傷など、種々の要因で読み取り不能になる可能性があります。

Stellar Data Recovery は損傷を受けた CD-ROM、CD-RW、DVD や DVD-RW ディスクのデータを復元することができます。Stellar Data Recovery は、Windows、Linux、UNIX、および Macintosh システムで作られ、損傷を受けたオプティカルメディアからの復元が可能です。復元のために選択されたオプティカルメディアに対してスキャンを行い、復元処理を行います。

CD/DVD のスキャン方法：

1. Stellar Data Recovery を起動します。

2. 復元対象を選択 画面で、復元を希望するデータの種別をすべてのデータ、ドキュメント、フォルダ およびメールまたはマルチメディアファイルから選択します。



3. 次へをクリックします。

4.復元場所を選択 画面で、接続されたドライブの CD/DVD ドライブを選択します。



5.スキャンをクリックすると、画面にスキャンの状況が表示されます。停止をクリックすると、いつでもスキャンを止めることができます。



6. スキャンが完了すると、検出されたファイルとフォルダの詳細が下図のようにダイアログボックス内に表示されます。



7. 検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。

注意: 1 回の復元処理に対して選択できる CD/DVD は一台だけです。

5.4. 消失したパーティションの復元

救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。

Stellar Data Recovery は、HDD の消失または削除されたパーティションからデータを検索して復元することができます。誤って削除されたパーティションからデータを回復するためにこのオプションを使う必要があります。このオプションは既存のボリュームと共に HDD 内のすべての消失したパーティションを検索して一覧表示します。

消失したパーティションの復元方法：

1. Stellar Data Recovery を起動します。

2. 復元対象を選択画面で、復元を希望するデータの種別をすべてのデータ、ドキュメント、フォルダおよびメール またはマルチメディアファイルから選択します。

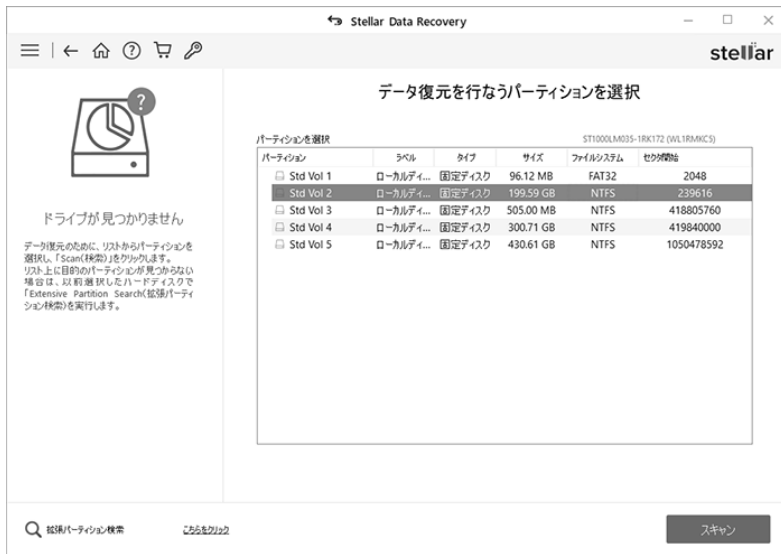


3. 次へをクリックします。

4.復元場所を選択 画面で、接続されたドライブから[ドライブが見つかりません]を選択します。



5.スキャンをクリックすると、次の画面が表示されます。

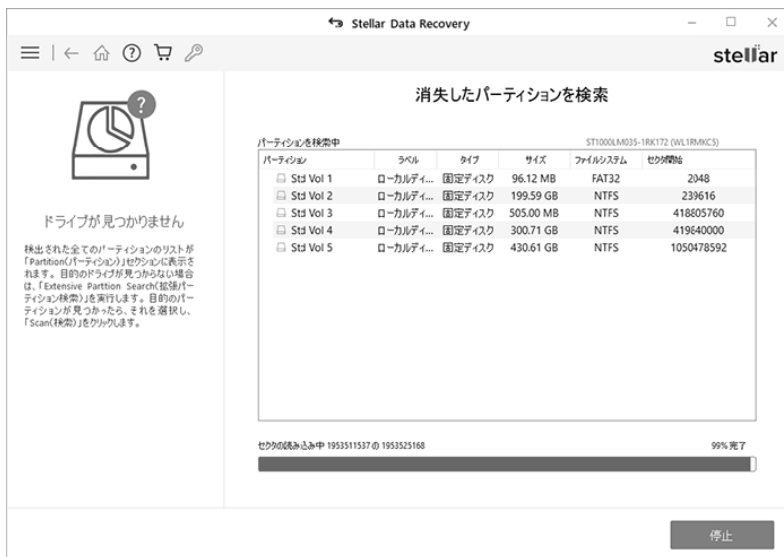


6. [削除されたパーティションを検索するハードドライブを選択] ウィンドウに、システムに接続されているすべてのドライブとその詳細が一覧表示されます。この中から、消失したパーティションの存在したはずのドライブを選択し、検索をクリックすると、選択したドライブに対する消失したパーティションを検索するためのスキャンが行われます。



7. 検査終了のメッセージが表示され、選択したドライブから検出したパーティションの数が示されます。目的のパーティションが表示されない場合は、画面左下の拡張パーティション検索オプションを実行してください。

8. 下に示すように、検出された全てのパーティションが、Select Partition to Recover Data（データ復元を行なうパーティションの選択）ウィンドウに一覧表示されます。



9.検出されたパーティションの一覧から、目的のパーティションを選択しスキャンをクリックして復元処理を続けます。

10.検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。

注意： スキャン結果の情報を保存し、後で復元処理を再開する場合はスキャン（検索）情報の保存を参照してください。

注意: 目的のパーティションがパーティションの一覧に表示されない場合は、拡張パーティション検索オプションを実行し、消失したパーティションの総合的な検索を実行してください。

5.5. クラッシュしたコンピューターからデータを回復する

救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。



Stellar Data Recovery は、完全にクラッシュしたコンピューターからデータを回復するオプションを提供します。

コンピューター（つまり、ハードドライブ）がクラッシュすると、オペレーティングシステムのロードに失敗し、コンピューターが起動しなくなります。このようなインシデントの場合、Stellar Data Recovery には、起動可能な回復ドライブを作成するオプションがあります。これを使用して、USB ドライブを使用してコンピューターを起動し、すべてのデータを回復できます。

リカバリドライブの作成：

注：手順を開始する前に、USB ドライブ（8GB 以上）が手元にあることを確認してください。

注意：USB ドライブのすべてのデータが削除されます。USB ドライブに個人用ファイルがある場合は、ファイルをバックアップしたことを確認してください。

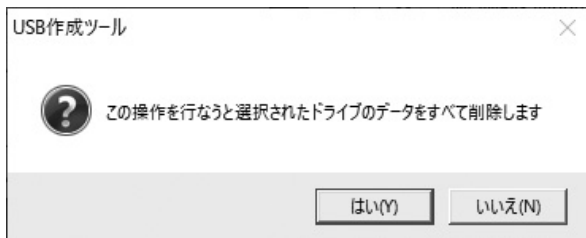
1. USB ドライブをコンピューターに接続します。
2. Stellar Data Recovery ソフトウェアを実行します。
3. 復元対象を選択 画面で、メインインターフェイスのメニューバーにある [復元のドライブを作成する]  ボタンをクリックします。または、[他のツール]  をクリックし、[復元のドライブを作成する] を選択します。



4.[リカバリドライブの作成]ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで選択されていない場合は、ドロップダウンリストを使用してUSBドライブを選択します。



5.[作成]をクリックすると、USBドライブ上のデータの削除について警告するダイアログボックスが表示されます。[はい]をクリックしてプロセスを開始します。



6.「成功」というメッセージが表示されたら、OKをクリックします。



※「失敗」と表示された場合は、再度お試しください。

リカバリドライブの使用：

リカバリドライブがコンピュータに接続されていることを確認し、次の手順を使用します。

- 1.コンピュータの電源を入れ、BIOS のブート（システム起動）オプションを操作して USB メモリから起動するように設定します。

注：BIOS ブートオプションを確認する方法については、コンピューターに付属の製造元のドキュメントを参照してください。

- 2.コンピューターが起動すると、Stellar Data Recovery Professional ソフトウェアが表示され、[回復する対象を選択]ウィンドウが開きます。
- 3.このソフトウェアを使用すると、すべてのデータを回復できます。[ヘルプ]ボタンをクリックして、ソフトウェアのヘルプマニュアルにアクセスします。

5.6. ディスクイメージ (Disk Images) について

ディスクイメージは、データの復元を必要としている「内蔵または外付けハードディスク」、「USB ドライブ」、「ボリューム」、「メモリカード」などの記録媒体全体をコピーした複製です。イメージを作成してもスキャン（検索）処理は実行されずに、選択したソース（ドライブ）全体のコピーが IMG ファイルとして保存されます。ドライブのイメージ作成の完了後、または後でディスクイメージから復元オプションを使用することでデータの復元処理を実行することができます。

Stellar Data Recovery は、以前作成したディスクイメージからデータを復元したり、ドライブ、パーティション、または新たにボリュームのディスクイメージを作成したり、新しく作成したイメージに対して復元処理を実行したりすることができます。

- ・イメージの作成
- ・現存するイメージまたはスキャン情報からデータからのデータの復元

5.6.1. イメージファイルの作成

救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。

Stellar Data Recovery のイメージ作成 (Create Image) オプションを使用すると、さまざまな記憶装置のイメージを作成し、それを IMG ファイルとして保存することができます。イメージを作成できる記憶装置は次のとおりです。

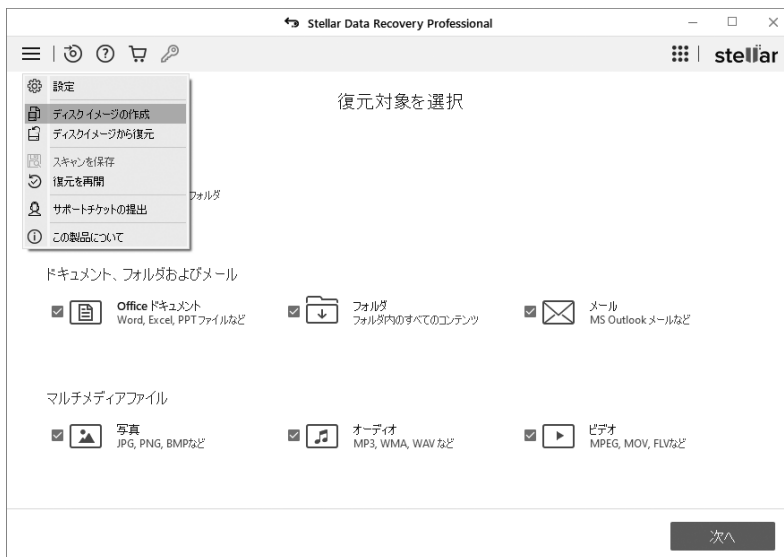
- ・ハードディスク (HDD)
- ・HDD 内の既存の論理ボリューム (パーティション)
- ・USB メモリ、外付け HDD などの取り外し可能な記憶媒体

上記のすべての元となる媒体のイメージは、IMG ファイルとして保存されます。この IMG ファイルは元の媒体の容量と同じサイズです。後で復元作業を再開するために、このイメージファイルを利用することができます。

Stellar Data Recovery で作成するイメージは、対象となるハードディスク、USB メモリ、またはボリュームと同じ容量になります。イメージファイルを保存する場所に十分な空き容量があることを確認してください。

HDD、ボリューム、リムーバルメディアのイメージファイルの作成方法：

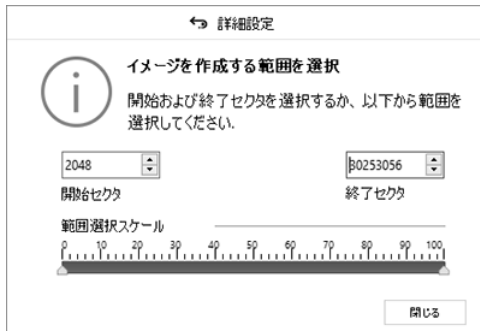
1. Stellar Data Recovery を起動します。
2. メニューボタン をクリックして、ディスク イメージの作成 を選択します。



3. イメージ作成 画面で、イメージを作成するドライブまたはパーティションを選択します。



4. ドライブまたはパーティション全体のイメージを作成するためには、イメージ作成をクリックします。



または、

選択した一部の領域のイメージを作成するには、詳細設定 (Advanced Settings) をクリックし、'イメージを作成する範囲を選択'画面でスライダをドラッグして、イメージファイルの開始セクタと終了セクタを決定し、閉じる、イメージ作成 の順にクリックします。

5. '保存するイメージを作成 (Create Media Image to Save)' ダイアログボックスで、イメージファイルの保存先を指定します。ファイル名 (File Name) テキストボックスに、名前を入力し、保存 (Save) をクリックします。

6. 処理が完了すると、新しく作成されたイメージファイルを示す画面が表示されます。



7. データの復元を開始するためにスキャンをクリックしてください。

8. スキャンの状況を示す画面が表示されます。 スキャンを停止するためには、停止をクリックするといつでも停止することができます。



9. スキャン処理が完了すると、検出されたファイルとフォルダの詳細が以下のようにダイアログボックスに表示されます。



10. 検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。

注意： スキャン結果の情報を保存し、後で復元処理を再開する場合はスキャン（検索）情報の保存を参照してください。

ヒント: 必要なイメージファイルを簡単に見つけ出すことができるように、「スキャン情報ファイル」と「ハードディスクイメージ」は、適切な名前でも別の場所に保存することをお勧めします。

5.6.2. 既存イメージからのデータ復元

救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。

Stellar Data Recovery は、イメージ作成（Create Image） オプションを使用して新規に作成したディスクイメージや以前に作成したディスクイメージに対して復元処理をすることができます。

ディスクイメージからのデータ復元方法：

1. Stellar Data Recovery を起動します。
2. メニューボタンをクリックして、「ディスクイメージから復元」を選択します。



3. 次へをクリックします。

4.復元場所を選択画面で、その他の場所 から ディスクイメージの復元 を選択し、スキャン をクリックします。



5.表示されたダイアログボックスから 既存イメージから復元 オプションを選択し、次へをクリックします。

オプションを選択

イメージ作成 既存イメージから復元

次へ

閉じる

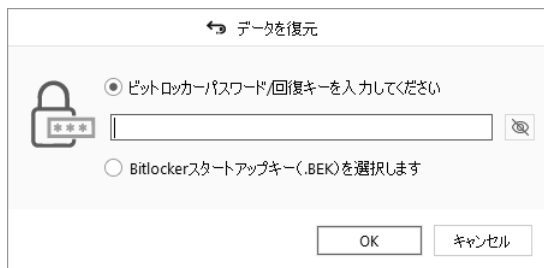
6.イメージから復元画面に、全てのディスクイメージがそれぞれの容量と共に表示されます。もしイメージが表示されない場合は、追加をクリックしてイメージファイルを参照して選択してください。




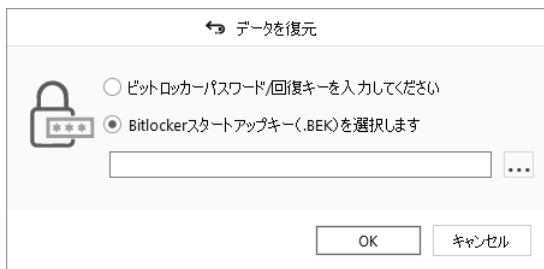
7.必要なイメージを追加 (Add) してから、スキャン をクリックすると復元処理が開始されます。

注意：:BitLocker を使用して暗号化されたドライブをスキャンする場合は、BitLocker のパスワード/リカバリーキーを入力するか、BitLocker のスタートアップキー (.BEK ファイル) を選択するように求められます。次のいずれかの手順を使用して、スキャン プロセスを開始します。

- ・指定されたテキストボックスに Bitlocker のパスワード/リカバリーキーを入力し、[OK]をクリックします。



- または、[Select Bitlocker Startup Key (.BEK)] ラジオボタンを選択します。  をクリックして、.BEK ファイルを参照して選択し、[OK]をクリックします。



- 8.画面上にスキャン状況が表示されます。停止をクリックするといつでもスキャンを止めることができます。



9. スキャンが完了すると、以下のダイアログボックスに検出されたファイルとフォルダの詳細が表示されます。



10. 検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。

注意： スキャン結果の情報を保存し、後で復元処理を再開する場合はスキャン（検索）情報の保存を参照してください。

注意： 1 回の復元処理のために選択できるボリュームは一つだけです。

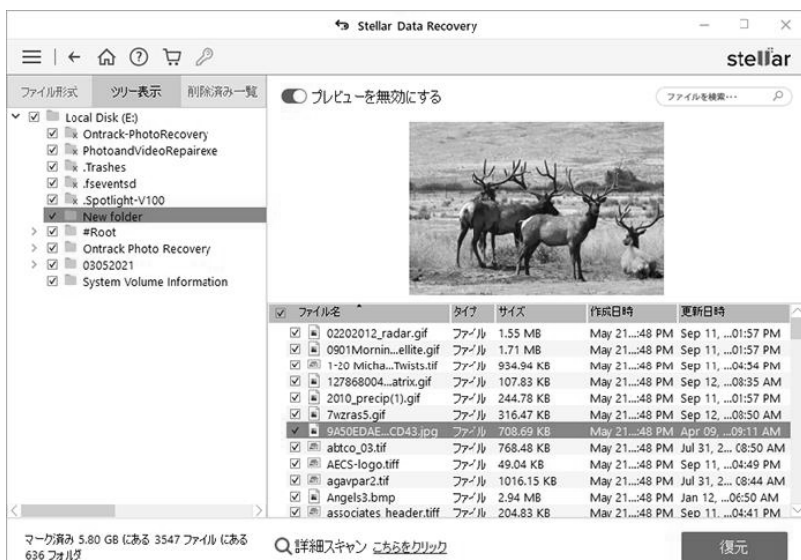
5.7. スキャン（検索）結果のプレビュー

Stellar Data Recovery は、スキャンされた物理ボリュームまたはリムーバブルメディアに存在するファイルとフォルダのプレビューを表示することができます。スキャンしたボリュームまたはリムーバブルメディアに存在する全てのファイルとフォルダは、3つの画面構造で表示されます。3つの画面とは、左、右上、および右下の部分です。

- ・左側の画面には、作成されたフォルダに対応したツリー構造が表示されます。
- ・右上の画面には、ソフトウェアが対応しているファイルの場合はプレビューが表示されます。
- ・左下の画面には、ツリー構造から選択されたフォルダ内の全てのフォルダとファイルの一覧が表示されます。

ファイルのプレビュー方法：

1. スキャンを完了すると、全てのファイルが下に示すプレビュー画面のように表示されます。



2. 左側画面上部のタブをクリックします。

- **ファイル形式:** この表示方法では、ファイル/フォルダは、文書、オーディオ、ビデオ、アーカイブなどのファイルの種類に分けて一覧表示されます。
- **ツリー表示:** この表示方法では、フォルダはツリー（階層）構造で一覧表示されます。
- **削除済み一覧:** この表示方法では、ドライブから削除されたすべてのファイル/フォルダが一覧表示されます。

3. 左画面のフォルダをクリックすると、そのフォルダのファイルが右下の画面に一覧表示されます。
4. フォルダをダブルクリックすると、1階層奥に移動します。
5. 右下画面のファイルをクリックすると、そのファイルが対応している形式の場合プレビューすることができます。

Note: スキャンして検出されたファイルのリストに目的のファイル/フォルダが見つからない場合は、詳細スキャン オプションを選択して、選択したドライブまたは場所の更に念を入れたスキャンを実行することができます。

5.7.1.プレビューでサポートされているファイル形式

Stellar Data Recovery は、このページにリストされているファイルの種類をプレビューできます。ファイルの種類がリストされていない場合でも、ソフトウェアを使用してそれを回復することができます。

ただし、ファイルタイプが一覧表示されていて、ファイルのプレビューに問題がある場合は、ファイルがひどく破損して部分的に回復されているか、大きすぎてプレビューできない（500 MB を超える）可能性があります。その場合は、ファイルを保存して、ファイルのデフォルトソフトで確認することをお勧めします。

プレビューできるファイル形式：

写真/ Raw ファイル形式

JPEG、TIFF、TIF、PNG、BMP、GIF、NEF、CR2、CRW、ORF、SR2、K25、KDC、DCR、RAF、MRW、PEF、ARW、DNG、ERF、NRW、MOS、RAW、X3F。

ビデオフォーマット

WMV、AVI、MPEG、MPG、ASF、MOV、MP4、3GP、3G2、MTS、DIVX、FLV、M4V、VOB、MKV、WEBM、HDMOV、MXF、OGM、M1V、M2TS、M2T、DV、F4V、SVI、TOD、OGV、MPV、AVCHD、MP2、MPE、M2V、WM、AMV、MP4V、3GP2、3GPP、3GPP2、QT、HDV、F4P、TS、PS、DVCPRO、DVCPROHD。

オーディオフォーマット

WMA、WAV、MP3、MIDI、MID、AAC、AIF、AIFF、AMR、AU、CA F、DSS、M4A、OGG、RA、RM、M4R、M4B、AIFC、F4A、M4P、F4B、OGA、OGX、SND、MPA、MPE、M3U、FLAC、ADT、ADTS、CDA。

ドキュメント形式

DOC、DOCX、DOT、DOTX、XLS、XLSX、PPT、PPTX、PPTM、POT、POTX、POTM、PPSX、PPS、ODP、PDF、XLA、XLAM、XLT、XLSM、XLSB、XLTX、XLTM、ODT、ODS、DOCM、DOTM、DOT。

アーカイブ形式

Zip、RAR。

テキスト/アプリケーション形式

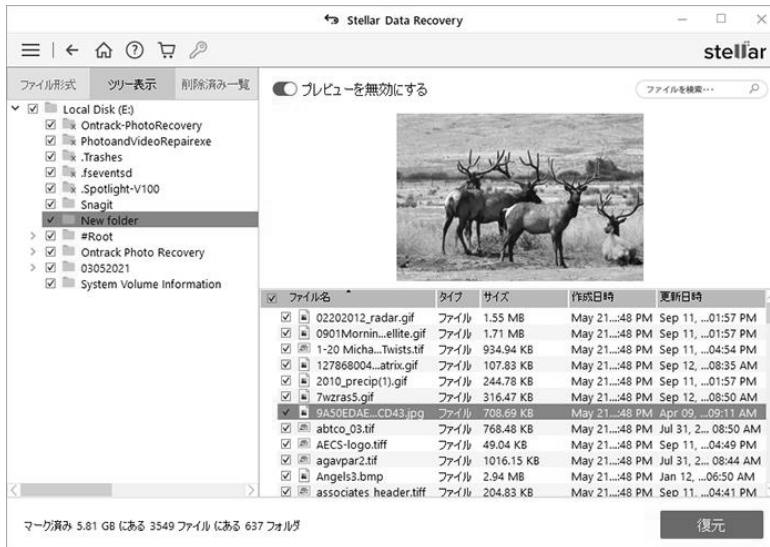
JSP、ASPX、PHP、MHT、HTML、MHTML、TXT、C、CPP、H、PLIST、Apple Mail EMLX / EML。

5.8. ファイルの復元と保存

Stellar Data Recovery は、対応しているファイル形式の全てのファイルを復元することができます。スキャン画面のプレビューセクションに表示されているファイルやフォルダを指定した場所に保存することができます。

消失したファイルの復元方法：

- 1.プレビューウィンドウから、復元したいファイルとフォルダを選択します。特定のファイルまたはファイルの種類だけを選択して表示したり、復元するファイルの種類を減らしたり、削除されたファイルを復元するには、削除済みリストからファイルを選択したりして検索結果の表示を絞り込むことができます。



・特定のファイルの検索方法

- ・ファイル名をファイルを検索 (Search Files field) に入力し Enter キーを押し、次の検索結果に移動する場合は をクリックするか CTRL + g を押します。

・全てのファイルの保存方法

- ・左画面のルートノードにチェックを入れ復元をクリックするか、ファイルリスト画面からファイル名タブの横にあるチェックボックスを選択して復元をクリックします。

・個別のファイルの保存方法


- ・左画面のフォルダをクリックして、そこに保存されているファイルを表示します。
- ・右下の画面でファイルを確認してから復元をクリックします。

・個々のファイルの復元方法

- ・ファイルリスト内のファイルを右クリックして、復元オプションを選択します。

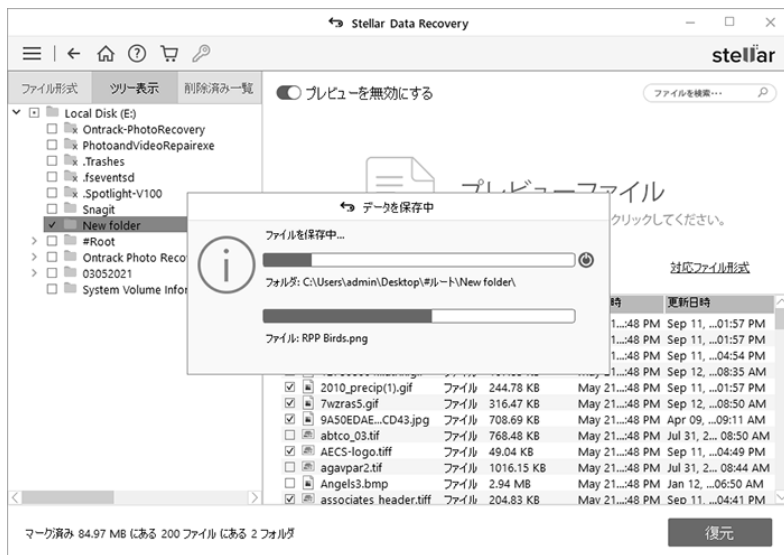
・特定形式のファイルの復元方法：

- ・ファイル形式タブをクリックします。必要なファイル形式フォルダにチェックを入れてください。選択した'ファイル形式'フォルダのファイルがファイルリスト画面に表示されますので、リストに表示された個々のファイルを選択します。
- ・復元をクリックします。

2.復元ダイアログボックスが表示されます。参照をクリックしてデータの保存先を選択するか、詳細設定 (Advanced Settings)  をクリックして詳細オプションを設定します。保存先を指定し、必要に従ってオプションを選択します。



3.保存するをクリックして保存処理を開始します。保存先に同一のファイル名が存在する場合は、overwrite (上書き)、rename (名前の変更)、または skip (スキップ) することができますので、必要に応じて選択してください。



選択したファイルが復元され、指定した場所に保存されます。ファイルを見るためには保存先に移動してください。

5.8.1. 高度な回復オプションを使用する

Stellar Data Recovery では、ファイルを保存しながら、回復オプションを設定できます。詳細設定では、次のことができます。

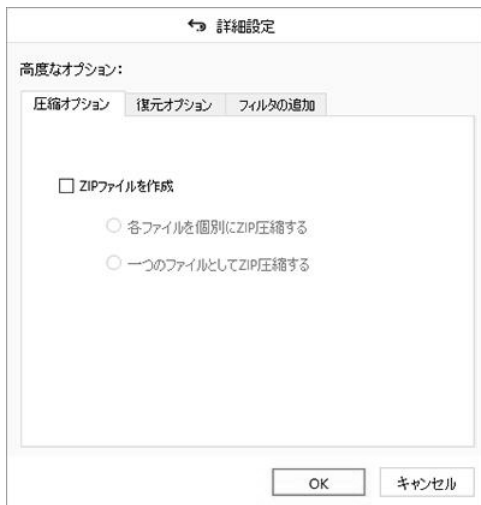
- ・圧縮を適用する
- ・回復オプションの変更
- ・ファイルフィルターを指定する

圧縮を適用

復元したファイルを圧縮 zip フォルダに保存できます。ただし、復元されたファイルがローカルディスクまたはドラッグに保存されている場合にのみ、圧縮を適用できます。

圧縮を適用するには:

1. [詳細設定]から[圧縮オプション]を選択します。



2. [zip ファイルを作成する]チェックボックスをオンにします。

- ・各ファイルを個別に圧縮: このオプションは、選択したすべてのファイルに対応する zip フォルダに保存します。
- ・単一ファイルに圧縮: このオプションは、すべての復元されたファイルを単一の zip フォルダに保存します。

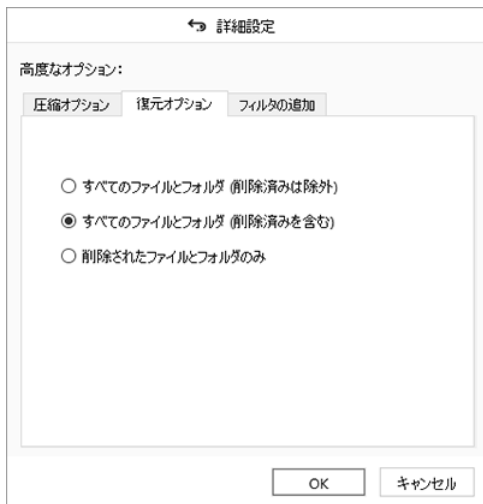
3. OK をクリックします。

回復オプションの変更

この項目は、すべてのファイルとフォルダがリカバリ対象として選択されている場合に表示されません。リカバリ中に削除されたファイルを除外するか含めるかを選択できます。

回復オプションを変更するには:

1. [詳細設定]から[回復オプション]を選択します。



2. 次のオプションのいずれかを選択します。

- すべてのファイルとフォルダ（削除済みを除く）：このオプションを選択すると、選択したファイルとフォルダの復元中に削除済みファイルが除外されます。
- すべてのファイルとフォルダ（削除済みを含む）：このオプションを選択すると、選択したファイルとフォルダの復元中に削除済みのファイルとフォルダが含まれます。
- 削除されたファイルとフォルダのみ：削除されたファイルとフォルダのみを回復するには、このオプションを選択します。

3. OK をクリックします。

フィルターを指定する

要件に応じてフィルターを追加できます。

フィルターを適用するには:

1. [詳細設定]から[フィルターの追加]を選択します。



2. ドロップダウンボックスからファイルタイプのグループを選択し、[追加]ボタンをクリックしてリストに含めます。
3. リストから拡張子を削除するには、拡張子を選択して[削除]ボタンをクリックします。
4. これらのファイルのみを含めるを選択して、リストされたファイルタイプをリカバリ中に含めるか、これらのファイルを除外してリストされたファイルタイプをリカバリ中に残します。OK をクリックします。

5.9.詳細スキャン

詳細スキャンは、HDD、USB メモリ、や HDD 内のボリューム（パーティション）からデータを復元します。ボリュームの徹底的なスキャンを実行して、消失したデータまたは削除されたデータのすべてを復元します。ファイルのシグネチャーに基づいて消失したファイルを検索します。このオプションは、選択した対象範囲にあるすべてを復元します。このオプションは、ボリュームの損傷が激しい場合に特に役立ちます。

クイックスキャンが完了し、目的のファイルが検出されたファイルのリストに含まれていない場合に、詳細スキャンを選択して、選択したドライブまたは対象範囲の徹底的なスキャンをすることができます。

詳細スキャンの方法：

- 1.クイックスキャン完了後プレビューウィンドウの下部にある、詳細スキャンの [こちらをクリック] を選択すると詳細スキャン が開始されます。



2. スキャンの状況が表示されます。停止をクリックするといつでもスキャンを止めることができます。



3. スキャンが完了すると、詳細スキャンで検出されたファイルとフォルダの数を示すダイアログボックスが表示されます。



4. 検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。


注意： スキャン結果の情報を保存し、後で復元処理を再開する場合はスキャン（検索）情報の保存を参照してください。

5.10. スキャン（検索）情報の保存

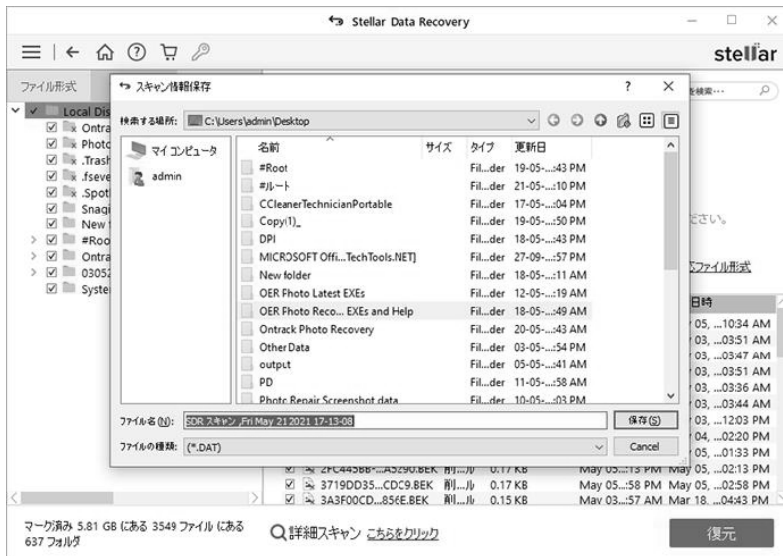
スキャン結果の情報を DAT ファイルとして保存することができます。スキャンが不完全な完了していない状態でも保存することができます。

スキャン情報を保存すると時間が節約できます。ドライブを再度スキャンしなくても DAT ファイルを選択することで、復元処理を再開することができます。

スキャン情報の保存方法：

1.[スキャン結果]  ウィンドウで、メニューアイコンをクリックし、[スキャンの保存]を選択します。

ヒント：バック または ホームボタンをクリックするか、ソフトウェアを終了しようとする時、スキャン情報の保存を要求されますので、この要求を利用してスキャン情報を保存することもできます。1回の復元処理のために選択できるボリュームは一つだけです。



2.スキャン情報の保存 ウィンドウで、イメージファイルの保存先を指定し、ファイル名 テキストボックスにイメージファイルの名称を入力して 保存 をクリックします。

復元処理再開については、保存したスキャン情報の復元処理再開 を参照ください。

注意：スキャン情報のファイルは、拡張子 DAT のファイルで保存されます。

注意：スキャンを途中で停止した場合は、その時点までスキャン情報を保存できます。ただし、完全な結果を得るためには、スキャンを完全に終了させてから結果を保存する必要があります。

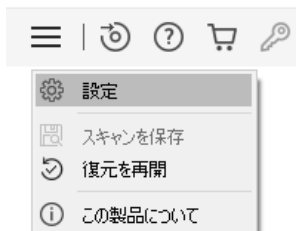
ヒント：必要な DAT ファイルを簡単に見つけ出すことができるように、「スキャン情報ファイル」と「ハードディスクイメージ」は、適切な名前ですべての場所に保存することをお勧めします。

5.11. 詳細設定の構成

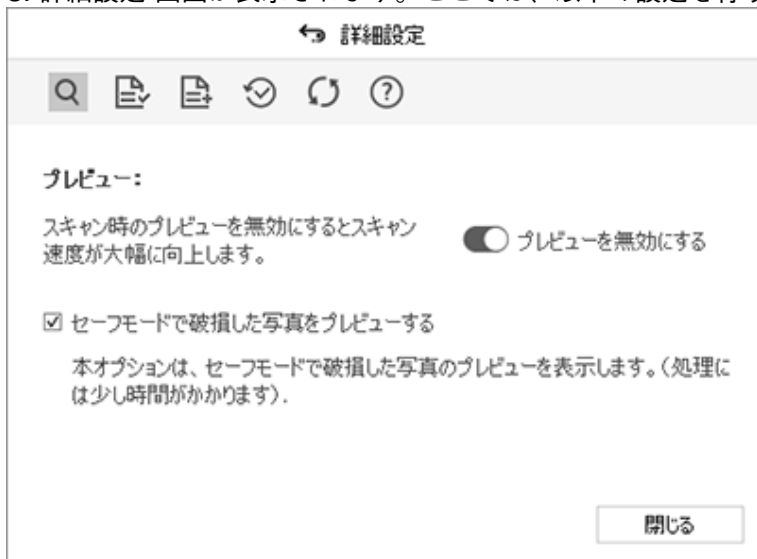
詳細設定は、個人的な要件に応じて Stellar Data Recovery を実行するように設定できます。このオプションにより簡単に操作できるようになります。





詳細設定を行うには：





1. Stellar Data Recovery を実行します。
2. メニューバーから[メニュー]をクリックし、[設定] オプションを選択します。



3. 詳細設定 画面が表示されます。ここでは、以下の設定を行うことができます。



- プレビューウィンドウの設定を行うには、[プレビュー]ボタンをクリックします 
- 回復するファイルの種類を選択するには、ファイルリストボタンをクリックします 
- ファイルタイプのプリファレンスを設定するには、[ファイルタイプの追加]  ボタンをクリックします
- 回復プロセスを再開するには、復元を再開  ボタンをクリックします

- 更新を確認するには、[更新]ボタンをクリックします 
- オフラインでソフトウェアをアクティベートするには、[オフラインアクティベート]  ボタンをクリックします（ソフトウェアが起動していない場合のみ使用できます）。
- ソフトウェアをアップグレードするには、[アップグレード]  ボタンをクリックします（ソフトウェアがアクティブ化されている場合にのみ使用可能）
- このソフトウェアのヘルプマニュアルにアクセスするには、[ヘルプ]ボタンをクリックします 


5.11.1. プレビュー設定

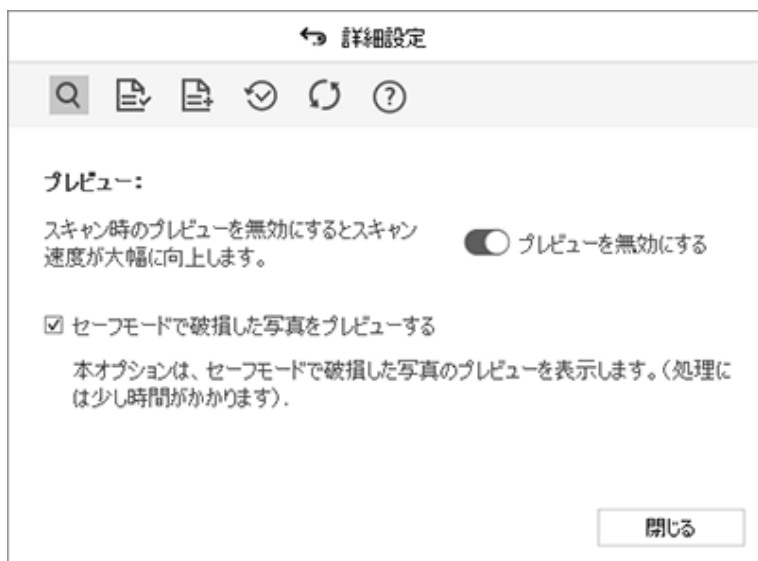
プレビューオプションでは、アプリケーションのプレビュー画面に設定を適用できます。

プレビュー設定を適用するには：

1. Stellar Data Recovery を実行します。
2. メニューバーから[メニュー]をクリックし、[設定] オプションを選択します。[詳細設定]ウィンドウが表示されます。



3. デフォルトで[プレビュー]タブ  が選択されています。そうでない場合は、[詳細設定]ウィンドウで[プレビュー]タブを選択します。



4. トグルボタンを使用して、スキャン中のプレビューをオフまたはオンにします。
5. [セーフモードで破損した写真をプレビューする] のチェックを入れるか外すかして、「閉じる」をクリックして設定を保存します。

5.11.2. ファイル形式の選択


ファイルタイプは、ビデオ、オーディオなどのファイルの種類とその拡張子に関する情報を提供します。検索の実行中にファイルタイプを選択し、スキャンプロセスで指定されたファイルタイプのみを検索することができます。Stellar Data Recovery のファイルリストオプションにはさまざまなファイルタイプがリストされています。リカバリに必要なファイルタイプを選択できます。

ファイルタイプを選択するには：

1. Stellar Data Recovery ソフトウェアを実行します。



2. メニューバーから、[メニュー]をクリックし、[設定] オプションを選択します。[詳細設定]ウィンドウが表示されます。

3. [詳細設定]ウィンドウから[ファイルリスト]  ボタンをクリックします。



4. 対応している全てのファイル形式が一覧表示されますので、回復したいファイルの種類を先頭のチェックボックスを使用して選択します。

ヒント：ファイルリストで復元の対象とするファイルの種類を選択する場合は、[復元する対象を選択] 画面で [すべてのデータ] を選択することをお勧めします。これは、ファイル形式の競合を回避することに役立ちます。たとえば、[回復対象を選択] 画面で [マルチメディアファイル] を選択せずに、[ファイルリスト] 画面でマルチメディアファイル形式を選択すると、双方の指定に食い違いが発生します。このような場合、ファイルがファイルリスト 画面で選択されていても、マルチメディアファイルがメインユーザインターフェイスで無効にしている方が優先されるため、これらのファイルは復元対象にはなりません。

5.11.3. ファイル形式の追加/編集 (修正)

Stellar Data Recovery を使用すると、ファイルリストですでに説明したものと別にファイルタイプを追加できます。ヘッダの追加 オプションを使って、新しいファイルタイプを追加したり、既存のファイルタイプを編集したりして、復元プロセスを容易にすることができます。

ヘッダの追加 には以下のオプションがあります。

- ・手動あるいは自動的にファイル形式を追加するためには、[ヘッダの追加] ボタンをクリックします。
- ・既存のファイル形式を編集するためには、[ヘッダを編集] ボタンをクリックします。



ファイルタイプの追加

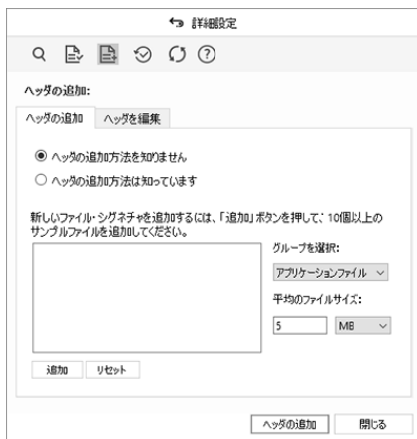
[詳細設定]ウィンドウの[ファイルタイプの追加]機能を使用して、Stellar Data Recovery でサポートされているファイルタイプの定義済みリストに新しいファイルタイプを追加できます。

ヘッダーはどちらでも追加できます

- ・自動的に
- ・手動で



ファイルタイプを自動的に追加するには :

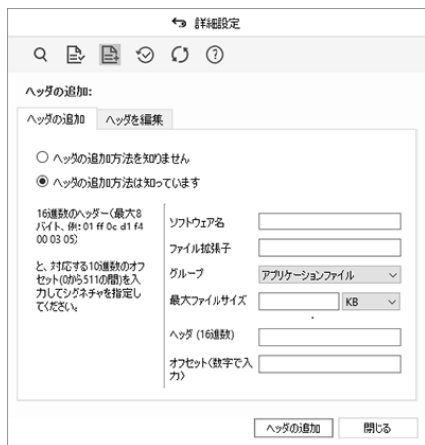
1. Stellar Data Recovery を起動します。
2. メニューバーから[メニュー]をクリックし、[設定]  オプションを選択します。[詳細設定]ウィンドウが表示されます。
3. [詳細設定]ウィンドウから[ヘッダの追加]  ボタンをクリックします。
4. 「ヘッダの追加方法を知りません」を選択します。



- 5.[追加]ボタンをクリックして、追加したいファイル形式の場所を参照します。
- 6.サポートされているファイルタイプのリストに含めるには、同じタイプのサンプルファイルを少なくとも10個以上追加する必要があります。
- 7.追加されたファイルタイプの名前が左側のボックスに表示されます。
- 8.ダイアログボックスにファイルヘッダー名を入力しグループを選択ドロップダウンリストからファイルヘッダーの種類を選択し、平均のファイルサイズテキストボックスからサイズを選択します。
9. [ファイルタイプの追加]ボタンをクリックします。

ファイルタイプを手動で追加するには：

1. Stellar Data Recovery を実行します。
- 2.メニューバーから[メニュー]をクリックし、[設定]  オプションを選択します。[詳細設定]ウィンドウが表示されます。
3. [詳細設定]ウィンドウから[ヘッダの追加]  ボタンをクリックします。
4. 「ファイルタイプを追加する方法を知っています」を選択します。



詳細設定

ヘッダの追加:

ヘッダの追加 **ヘッダを編集**

ヘッダの追加方法を知りません

ヘッダの追加方法を知っています

16進数のヘッダー(最大8バイト、例: 01 # 0c d1 f4 00 03 05)

と、対応する16進数のオフセット(0から511の間)を入力してシグネチャを指定してください。

| | |
|--------------|-------------------------|
| ソフトウェア名 | <input type="text"/> |
| ファイル拡張子 | <input type="text"/> |
| グループ | アプリケーションファイル |
| 最大ファイルサイズ | <input type="text"/> KB |
| ヘッダ (16進数) | <input type="text"/> |
| オフセット(数字で入力) | <input type="text"/> |

ヘッダの追加 閉じる

5. 次のように入力します：

- ・ソフトウェア名を指定します。
- ・ファイル拡張子を指定します。
- ・ドロップダウンリストから[グループ]を選択します。
- ・最大ファイルサイズ (KB または MB) を指定します。

- ・ヘッダーを16進数で指定します。
- ・オフセットで10進数で指定します。


6.[ヘッダの追加]ボタンをクリックします。


ファイルタイプの編集

既存のファイルタイプや新しく追加されたファイルタイプを編集することもできます。ファイルタイプのすべての設定を変更することができます。

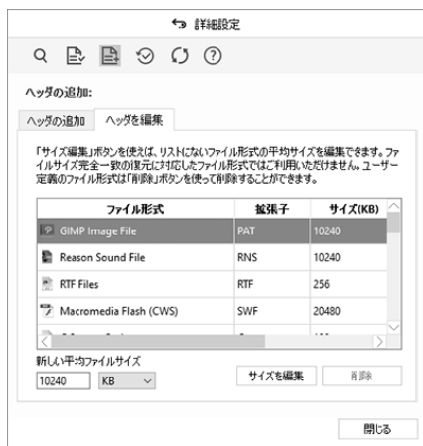
サポートされているファイルタイプのサイズを変更する/追加されたファイルタイプを削除するには：

1. Stellar Data Recovery を実行します。

2.メニューバーから[メニュー]をクリックし、[設定]  オプションを選択します。[詳細設定]ウィンドウが表示されます。

3. [詳細設定]ウィンドウから[ヘッダの追加]  ボタンをクリックします。

4.[ヘッダを編集]タブを選択します。



5.リストから目的のファイル形式を選択し、新しい平均ファイルサイズボックスに新しいファイル形式の容量を入力します。

6. [サイズの編集]ボタンをクリックして、ファイルタイプのサイズを保存します。

7. 選択したファイルタイプをリストから削除する場合は、[削除]ボタンをクリックします。


5.11.4. 保存されたスキャン情報または情報からの回復の再開

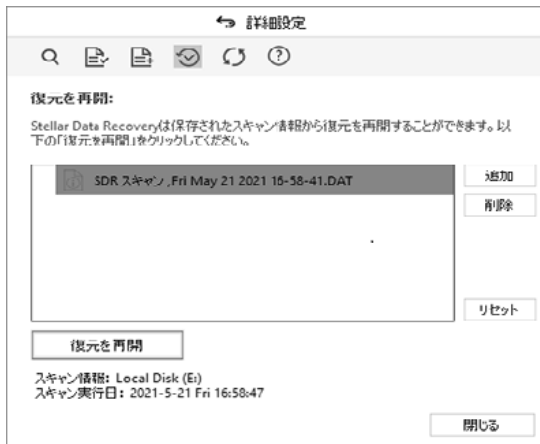
スキャン情報ファイルは、スキャン結果の情報を、そのスキャンが完了しているか否かに関係なく、DAT ファイルとして保存したもので、その DAT ファイルを使用すれば後で復元処理を再開することができます。たとえば、スキャン処理の終了時点で DAT ファイルを保存し、そのスキャン結果から一部のファイルだけを復元したとします。後で、同じドライブからさらにいくつかのファイルを回復したいと思った場合には、その保存した DAT ファイルを使用して復元処理を再実施することができます。

保存済みのスキャン情報ファイルを使用すると、再度のスキャンを行わないので、処理時間が節約できます。DAT ファイルをロードすると表示されるすべてのファイルとフォルダは、そのスキャン情報ファイルを作成した時のものです。また、スキャン処理を実行したが検出したファイルを何も保存していないような場合は、DAT ファイルを使用して後程で復元処理を再開することができます。

スキャン情報ファイルを使用してリカバリを再開するには：


1. Stellar DataRecovery を実行します。
2. メニューバーから[メニュー]  アイコンをクリックし、[スキャンの再開]を選択します。


注：または、[メニュー]  アイコンをクリックして、[設定]オプションを選択します。[詳細設定]画面から[復元を再開]をクリックします。



- 3.保存されたすべてのスキャン情報ファイル（.DAT）が[リカバリの再開]ウィンドウに一覧表示されます。ファイルがリストにない場合は、[追加]をクリックしてファイルを参照し、選択します。
- 4.リストからファイルを削除するには、そのファイルを選択し、[削除]をクリックします。リストをデフォルトに戻すには、[リセット]をクリックします。
- 5.目的のファイルを選択し、[復元を再開]をクリックしてリカバリプロセスを再開します。



注：BitLocker を使用して暗号化されたドライブをスキャンしている場合は、Bitlocker パスワード/回復キーを入力するか、Bitlocker スタートアップキー（.BEK ファイル）を選択するように求められます。スキャンプロセスを開始するには、次のいずれかの手順を使用します。

- 表示されたテキストボックスに Bitlocker パスワード/回復キーを入力し、[OK]をクリックします。
- また、選択したセ LEC トンの BitLocker スタートアップキー（.BEK）ラジオボタン  をクリックして BEK ファイルを参照および選択し、[OK]をクリックします。



← データを復元

ビットロッカーパスワード/回復キーを入力してください

Bitlocker スタートアップキー（.BEK）を選択します

OK キャンセル



← データを復元

ビットロッカーパスワード/回復キーを入力してください

 Bitlocker スタートアップキー（.BEK）を選択します



OK キャンセル

6. スキャンプロセスを示す画面が表示されます。[停止]をクリックして、任意の時点でスキャンを停止



します。

7. スキャンプロセスが完了すると、見つかったファイルとフォルダの詳細が次のようにダイアログボッ



クスに表示されます。

8. 検索したデータのプレビュー及び復元方法については、スキャン（検索）結果のプレビュー及び復元したファイルの保存を参照してください。

6. よくある質問 (FAQ)

1. Stellar Data Recovery はオフラインでアクティベーション (有効化) できないのですか？

いいえ、もし Stellar Data Recovery のオンラインアクティベーションに問題が発生したり、インターネット接続が無い場合はオフラインでアクティベーション (有効化) ができます。詳しくは ソフトウェアのアクティベート (有効化) をご参照ください。

2.このソフトウェアによって復元されるのは、オーディオ、ビデオ、ドキュメント、および写真のみですか？

いいえ、ソフトウェアは選択したボリューム内のすべてのファイルとフォルダを回復できます。Stellar Data Recovery は、このマニュアルの「プレビューでサポートされているファイル形式」一覧に記載されているファイルの種類をプレビューできます。ただし、ファイル形式が一覧にない場合でも、ソフトウェアを使用して回復できます。

3. このソフトウェアで、特定のファイルを復元することは出来ますか？

はい、特定のファイルを回復するには、スキャンしたファイルをプレビューしながらその特定のファイルを右クリックし、[回復]ボタンを選択します。

4.ボリューム (パーティション) を削除してしまいました。その中にあったファイルを復元できますか？

救出データ復元 12 PREMIUM もしくは STANDARD では可能です。(BASIC には本機能はありません) 消失や削除してしまったボリューム (パーティション) を検出するために、消失したパーティションからのデータ復元オプションを選び、スキャンすることで削除したボリュームからデータを復元することができます。

5.クイックスキャン と 詳細スキャン とは何ですか？

クイックスキャンは高速スキャンを行なうオプションです。もし、ファイルが検出できない様な場合は詳細スキャンを使うことができます。詳細スキャンは、少し遅くなりますがクイックスキャンより良い結果が有られます。

6.Stellar Data Recovery でデータを復元するのにどのくらいの時間が掛かりますか？

所要時間は、HDD またはボリューム (パーティション) の容量によって異なります。処理が実行されている場合、それはソフトウェアがまだ削除されたファイルをスキャン (検索) していることを意味しているので、処理が完了するのを待つ必要があります。処理が完了したら、選択した場所に復元されたファイルを保存することができます。

7.exFAT パーティションからデータの復元は出来ますか？

はい、exFAT パーティションからの復元は可能です。Stellar Data Recovery は NTFS, FAT, FAT16, FAT32 と exFAT ファイルシステムに対応しています。

8. 特定のファイルだけ探して復元する方法は？

特定のファイルをプレビューウィンドウで検索するか、ファイル形式リスト タブで ファイル形式ごとに分類されたフォルダから選ぶことができます。選択したファイル形式のファイルがファイルリスト画面に表示されるので、ファイルを選択して復元をクリックします。ファイルは指定した保存先に保存されます。

9. 削除したデータだけの復元はどうやるのですか？

削除したデータだけを復元する方法は二つあります。

- 1.プレビューウィンドウの削除済み一覧タブを使う方法： スキャンの後で復元可能な全てのデータを表示するので、プレビュー ウィンドウの 削除済み一覧タブから必要なファイルを選択してください。詳しくはスキャン（検索）結果のプレビュー をご参照ください。
- 2.高度な回復オプション を使う方法： 削除されたファイルとフォルダのみを回復するオプションが用意されています。詳しくは、高度な回復オプションの使い方の、回復オプションの変更 をご参照ください。

10. イメージの作成とはなんですか？なぜそれが必要ですか？

Stellar Data Recovery のイメージファイルの作成オプションを使用すると、さまざまなストレージ機器のイメージファイルを作成し、IMG ファイルとして保存することができます。この IMG ファイルを使用して、後で復元処理を再開することができます。HDD のイメージファイルを作成すると、多くの不良セクタを持つ障害を持ち、症状が進行するような HDD からデータを復元するのに特に役立ちます。

11. リムーバブル機器から画像ファイルだけを復元することは出来ますか？

はい、USB メモリやメモリカード等のリムーバブル機器から写真などの画像ファイルだけを復元することができます。復元対象を選択 画面で写真オプションを選んで検索してください。

12. オペレーティングシステムまたはコンピューターがクラッシュした場合にデータを回復できますか？

救出データ復元 12 PREMIUM もしくは STANDARD では可能です。(BASIC には本機能はありません) そのような場合のために、Stellar Data Recovery にはシステム起動用ドライブを作成する機能があります。このリカバリードライブは、オペレーティングシステムまたはコンピューターがクラッシュした場合にすべてのデータを回復するのに役立ちます。詳細については、クラッシュしたコンピューターからデータを回復する をご参照ください。

13. BitLocker とは何ですか? Stellar Data Recovery は BitLocker に対応していますか?

BitLocker は、Windows 7 以降の Microsoft Windows (Pro および Enterprise のみ) に含まれる暗号化機能で、ボリューム全体を暗号化することでデータを保護するように設計されています。Stellar Data Recovery は BitLocker に対応し、暗号化されたドライブからデータを復元するには、Bitlocker のパスワード/リカバリーキーを入力するか、ドライブのスキャン時に Bitlocker のスタートアップキー (.BEK ファイル) を提供するかのいずれかの方法があります。



Stellar Drive Monitor

救出データ復元 12 BASIC には本機能はありません。

1. Stellar Drive Monitor について

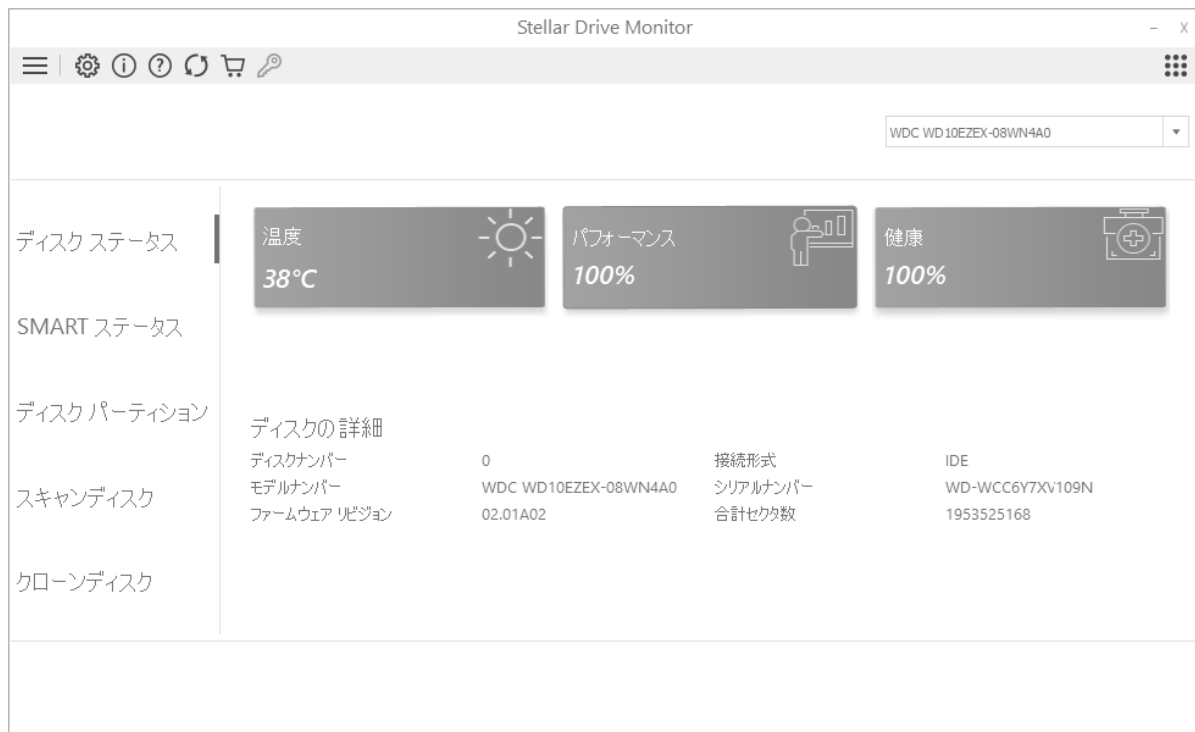
Stellar Drive Monitor は、監視対象の特性の値がその判定値（またはユーザーが設定した値）を超えると警告を表示します。さまざまな HDD のパラメータ（温度、パフォーマンス、健全性など）を継続的に監視し、リアルタイムでユーザーに警告します。

主な特徴:

- 1.バックグラウンドで連続して動作するため、HDD の状態に関するリアルタイムの情報が得られます。
- 2.シリアル番号/モデル番号、パーティション情報などの標準的なハードディスク情報を提供します。
- 3.さまざまなハードディスクの特性に関する情報を表示し、またそれらの状態を表示します。
- 4.HDD の不良セクタを検索して表示するオプションがあります。
- 5.HDD のクローンを作成するオプションがあります（ディスクの複製を作成します）。
- 6.任意の PATA / SATA 接続の HDD、USB 接続ドライブ、SSD をテストできます。
- 7.簡単、容易に使用可能で、システムパフォーマンスに影響を与えません。




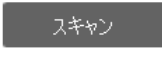
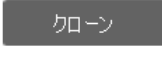

2. ユーザーインターフェースの詳細

このセクションは、ハードドライブの動作状況を分析するために用意されているさまざまな機能について理解し、このアプリケーションに使用に慣れていただくことを目的としています。メイン画面のユーザーインターフェースは、できるだけ単純かつ効率的に操作できるようにしています。



このヘルプ（ユーザガイド）は、接続されているディスクを監視するためのすべてのボタンと設定の機能を解説しています

2.1. ボタンの使い方

| | |
|---|---|
|  Settings (設定) | 左上角の Settings ボタンをクリックをクリックすると、Stellar Drive Monitor の一般設定、温度の表示設定をすることができます。 |
|  インフォメーション | このボタンをクリックすると Stellar Drive Monitor に関する情報を表示します。 |
|  ヘルプ | このボタンをクリックすると本ヘルプ（ユーザガイド）を表示します。 |
|  スキャン | このボタンはスキャンを開始します。 |
|  クローン | このボタンをクリックすると、ディスクのクローン（複製）の作成を開始します。 |
|  停止 | このボタンをクリックすると、スキャンやクローン作成動作を止めることができます。 |

3. ソフトウェアの使い方

Stellar Drive Monitor は、システムに接続されているハードディスクのさまざまな特性のモニターを目的としています。

下記がディスクの状態をモニターするための主な機能・項目です。

- 3.1. ディスクステータス (ディスクの状態)
- 3.2. SMRT ステータス (SMART の状態)
- 3.3. ディスクパーティション (パーティションの状態)
- 3.4. スキャンディスク (不良セクタの検索)

注：システムに複数のディスクが接続されている場合は、右上のドロップダウンリストから対象とするドライブを選ぶことができます。

3.1. ディスクステータス

この機能は、HDD の一般的な正常度に関する情報を扱っています。システムに複数のドライブが接続されている場合は、右上のドロップダウンリストから対象のドライブを選択することができます。

情報の構成

- ・温度: HDD が正しく動作するか否かは、ドライブの温度上昇速度によって決まります。ドライブの温度範囲で、ドライブ本体から検出された温度に従って表示色が変わります。

ドライブの適切な温度範囲を以下に示します。

| HDD 本体の温度 | 適合度合い | 表示色 |
|---------------|-------|------|
| 50° C 未満 | 理想的 | 青/青緑 |
| 50° C ~ 65° C | 許容範囲 | オレンジ |
| 65° C 超過 | 過熱状態 | 赤 |

温度限界はユーザーによる定義であり、設定画面から変更できます。上記の指定範囲を超える温度はドライブの故障の原因となる可能性があります。

- ・パフォーマンス: HDD の性能は、いくつかの要素によって決まりますが、アクセス時間が最も重要な要素であるとも言われています。その理由により、本ソフトウェアでは、ディスクの転送速度を性能として表示します。
- ・健全性: HDD の健全性は合計動作時間、リード/ライトエラーの回数等で決まります。

Stellar Drive Monitor は HDD の健全性を表示します。

| HDD の健全性 | 適合度合い | 表示色 |
|-----------|-------|------|
| 80%以上 | 理想的 | 青/青緑 |
| 79% ~ 65% | 許容範囲 | オレンジ |
| 65%未満 | 危険 | 赤 |

The screenshot shows the Stellar Drive Monitor application window. At the top, it displays the drive name 'WDC WD10EZEX-08WN4A0'. Below this, there are three summary cards: '温度' (Temperature) at 38°C, 'パフォーマンス' (Performance) at 100%, and '健康' (Health) at 100%. A sidebar on the left lists 'ディスクステータス', 'SMART ステータス', 'ディスクパーティション', 'スキャンディスク', and 'クローンディスク'. The main area shows 'ディスクの詳細' (Disk Details) with the following information:

| ディスクナンバー | 0 | 接続形式 | IDE |
|--------------|----------------------|----------|-----------------|
| モデルナンバー | WDC WD10EZEX-08WN4A0 | シリアルナンバー | WD-WCCFY7XV109N |
| ファームウェアリビジョン | 02.01A02 | 合計セクタ数 | 1953525168 |

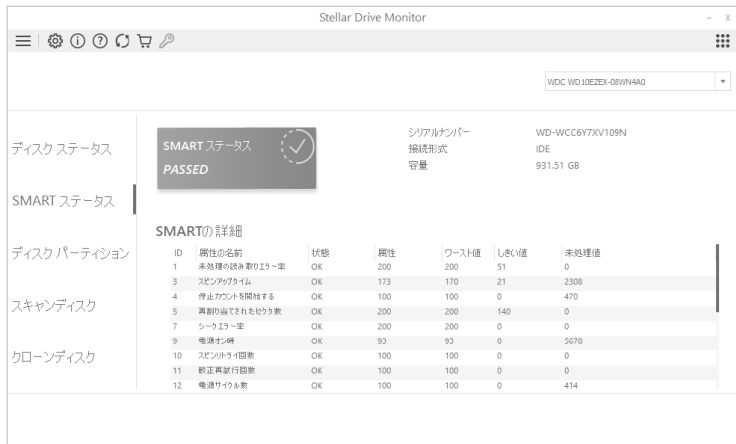
ディスクに関する統計情報の表示以外に、接続されているディスクの中から選択されているディスクの、ドライブ番号、機種番号、ファームウェア、インターフェースの種類、シリアル番号、合計セクタ数などのディスクの詳細情報も表示します。

注：パフォーマンス、健全性、および温度特性の現在の値を表示しているタイルの色は、ディスクの状態によって青からオレンジ、赤に変わります。青色のタイルは理想状態表し、赤は危機状態を表します。オレンジ色のタイルは、特性値が許容範囲ではあっても警戒レベルであることを表します。

3.2. SMART ステータス

SMART ステータス画面は、HDD の S.M.A.R.T.属性全ての情報を表示します。これにより、選択した HDD の全体的な健全性の把握が可能となります。

SMART ステータス画面は 7 つの項目で構成されています：(特性の) ID、属性の名前、状態 (OK または FAIL)、属性 (特性の現在の値)、ワースト値 (属性がこれまで到達した最悪値)、しきい値 (HDD が故障する可能性がある限界値)、および適合度 (ディスクの状態を示す目安として使用できます)。



Stellar Drive Monitor

WDC WD10EZEX-08WN4AG

ディスクステータス

SMART ステータス

SMART ステータス

SMARTの詳細

| ID | 属性の名前 | 状態 | 属性 | ワースト値 | しきい値 | 未処理値 |
|----|--------------|----|-----|-------|------|------|
| 1 | 未処理の読み取りエラー率 | OK | 200 | 200 | 51 | 0 |
| 3 | スピンドルタイム | OK | 173 | 170 | 21 | 2308 |
| 4 | 停止カウントを開始する | OK | 100 | 100 | 0 | 470 |
| 5 | 再割り当てされたセクタ数 | OK | 200 | 200 | 140 | 0 |
| 7 | シークエラー率 | OK | 200 | 200 | 0 | 0 |
| 9 | 電源オン時 | OK | 93 | 93 | 0 | 5676 |
| 10 | スピンドルタイム | OK | 100 | 100 | 0 | 0 |
| 11 | 不正再試行回数 | OK | 100 | 100 | 0 | 0 |
| 12 | 電源サイクル数 | OK | 100 | 100 | 0 | 414 |

シリアルナンバー: WD-WCC6Y7XV109N
接続形式: IDE
容量: 931.51 GB

Stellar Drive Monitor の SMRT ステータス機能で識別されている特性の一覧は以下の通りです。

| 属性の名前 | 説明 |
|--------------------------------------|---|
| 未処理の読み取りエラー率 | HDD のデータ読み込み時に発生した、ハードウェアに起因するリードエラーの発生回数。 |
| スピンドルアップタイム | スピンドルが、起動時に既定の回転数に到達するまでの平均時間 |
| 停止カウントを開始する | HDD の起動/停止の合計回数。この数値は電源 OFF 後の再起動や、スリープモードからの復帰などによって増加します。 |
| 再割り当てされたセクタ数 | 不良セクタの発生により、代替用に用意された特別な領域のセクタにデータが書き換えられた回数。この数字が多いことは HDD の正常度が悪化していることを示します。 |
| シークエラー率 | データの読み書きを行なう磁気ヘッドが適切な位置に移動しない不具合の発生した回数。位置決め機構の機械的な不具合によって発生します。 |
| 電源オン時 | ディスクの合計通電時間 |
| スピンドルリトライ回数 | 起動時にスピンドルが規定回転数に到達しないために、再起動を行った合計回数。HDD に構造的な不具合が発生していることを示します。 |
| Calibration Retry Count (校正再試行回数) | ヘッド位置決めシステムの再校正を要求された回数。HDD のヘッドの位置決めシステムに不具合が発生していることを示します |
| 電源サイクル数 | HDD 全体の電源の ON/OFF サイクルの回数 |
| Uncorrectable Errors (訂正不能エラー数) | FCC 機能 (エラー訂正符号処理) で処理不能なエラーの発生回数 |
| High Fly Writes (ハイフライ書き込み) | HDD には、ヘッドが異常な浮上量になっていることを検出し、書き込み動作を保護する Fly High Monitor 機能があり、その状態を検出した場合、データを他の安全な領域に移動することが行われる。Fly High Writes は、このエラーの発生回数を示します。 |

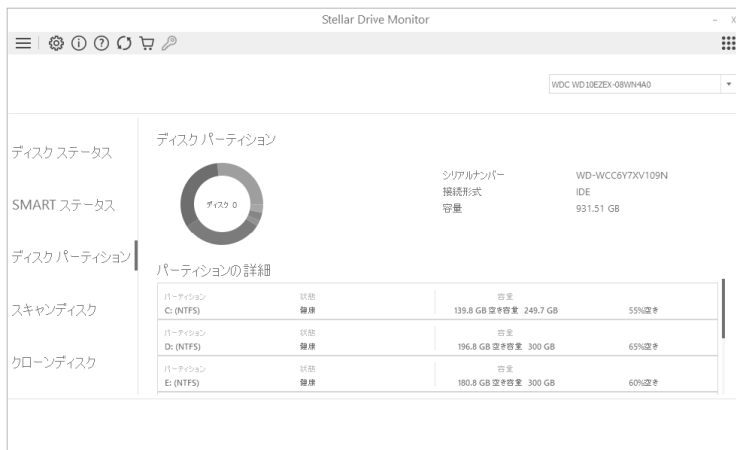
| | |
|---|---|
| パワーオフトラクトカウント | 電源 OFF が行われた回数 |
| ロードサイクル数 | ヘッドがランディングゾーンから、ディスク上のデータの読み書きを行なう位置に移動するロード/アンロードサイクルを行った回数。 |
| 温度摂氏 | 機器本体の温度の摂氏表示 |
| イベントカウントの再割り当て | 再割り当てされたセクタからスペア領域にデータを転送しようとした合計試行回数。成功・失敗した試行は合計してカウントされます。 |
| 現在保留中のセクター | 回復不能な読み取りエラーが不規則に発生するために、再割り当て保留状態になっているセクタ数 |
| オフライン訂正不可 | 読み書き中に ECC では訂正不能なエラーの発生したセクタ総数。値が大きくなるほど、ハードディスクの読み書き機能の問題やディスク表面に欠陥が存在する可能性があります。 |
| UDMA CRC エラー数 | ICRC（インターフェイス冗長性の確認機能）によって検出された、インターフェイスケーブルを介したデータ転送上で発生したエラー回数。 |
| Write Error Rate (書き込みエラー発生率) | 書き込み時に発生したエラーの総数。この値が大きくなるほど、ハードディスクのデータ書き込み機能が悪化していることを示します。 |
| Data address Mark Errors (データアドレスマークエラー) | 不正または無効なアドレスマーク検出数 |

3.3. ディスクパーティション

ディスクパーティション（ディスクの分割）は、異なるファイルシステムでフォーマット可能な、色々な容量のディスクスペースを作成する方法です。これらの分割された領域はパーティションと呼ばれます。

ディスクパーティション機能は、以下のような HDD のパーティションの詳細を表示します。

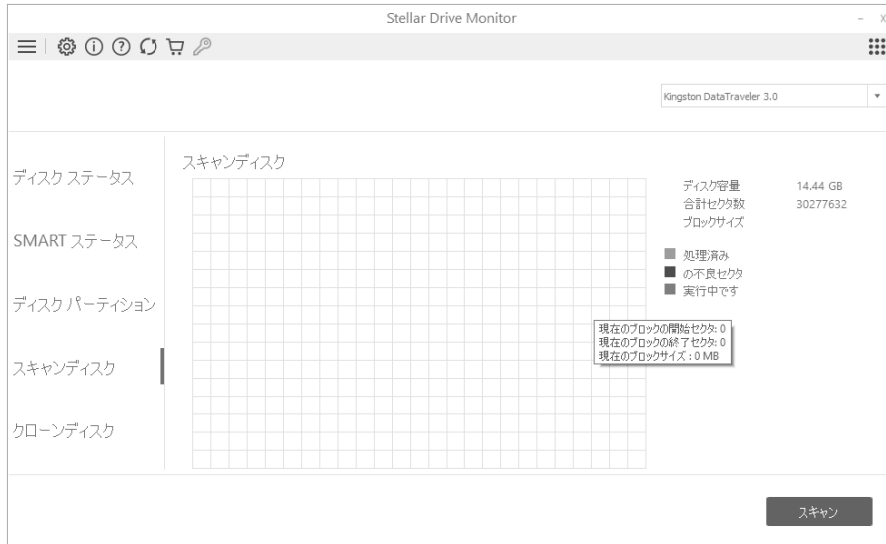
- 1.パーティション: 夫々の領域を「C:」、「D:」のようなドライブレターで表示します。
- 2.状態: 夫々のパーティションの状態を Healthy（正常）や Failed（故障）で表示します。
- 3.空き容量: 利用可能な容量を、232 GB free of 313 GB（313GB 中 232GB）のように表示します。
 - また、空き容量を 74% 空きのようにパーセンテージで表示します。



4. また、シリアル番号やインターフェースの種類や容量も表示します。

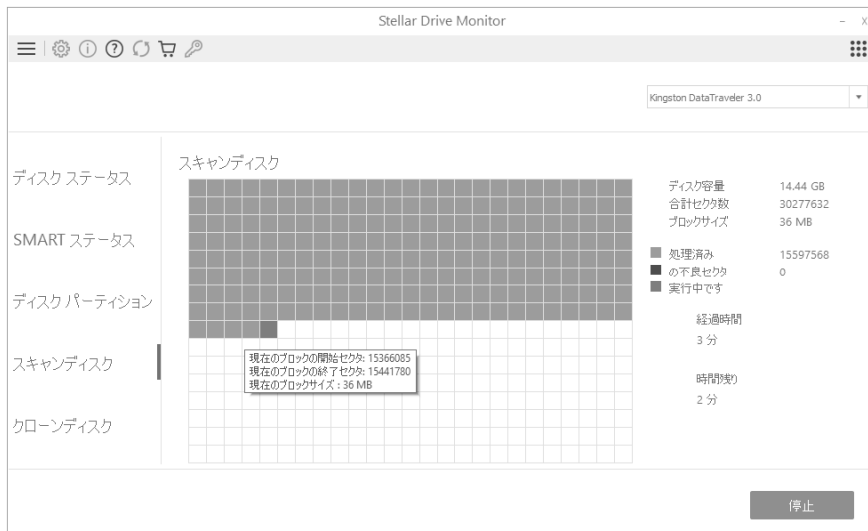
3.4. スキャンディスク

Stellar Drive Monitor のスキャンディスク機能は HDD の不良セクタを検索します。この動作は、検索動作（スキャン）で検出されたディスク内のすべての不良セクタを報告します。

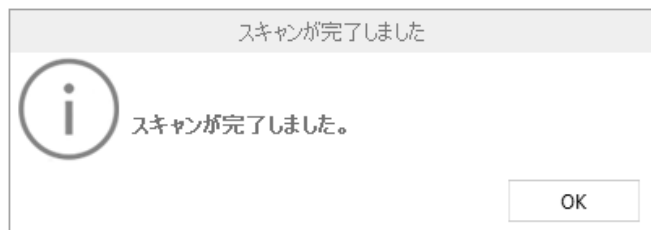


スキャンディスクの実行方法

1. Stellar Drive Monitor を起動します。
2. 画面の右上のドロップダウンリストで、対象とするディスクを選択します。
3. スキャンをクリックするとスキャンが始まり、状況を Scan 画面で確認することができます。



4. スキャンが完了すると'スキャンが完了しました'メッセージが表示されるので、OK をクリックします。



- ・ 正常な処理済みブロックは青で表示され、不良ブロックは赤で表示されます。
- ・ 合計経過時間とスキャン動作の完了までの残り時間も画面の右側に表示されます。

注：スキャン動作は、停止ボタンをクリックするといつでも止めることができます。ただし、一度スキャン動作を停止した場合、再度スキャンを開始した場合でも、停止したブロックからではなく、再度先頭から開始されます。

注：不良セクタが検出された HDD はクローンを作成することを強くお勧めします。不良セクタを持つ HDD には、故障の可能性が高確率で存在します。

4. よくある質問

1. Stellar Drive Monitor は、何種類の HDD に対応しているのですか？

PATA/SATA、USB ドライブ（メモリ含む）と SSD です。

USB メモリの場合、S.M.A.R.T.情報、機種名、シリアル番号の表示はできません。

2. HDD の温度、健全性、およびパフォーマンスが表示されないのですが？

分析対象のドライブのハードウェア（HDD コントローラ、ポータブルマルチプライヤなど）側の問題、またはドライバが検出をブロックしている可能性が有ります。

ディスクコントローラのドライバを更新すると、問題の解決に役立つことがあります。Windows ではバージョンによってドライバが異なることもあるため、異なるバージョンの Windows を使用することで解決する場合があります。

3. HDD の温度が動作上重要な役割を果たすのはなぜですか？

高速な HDD は、シャーシ上に部品が非常に密集しています。このために、HDD は熱くなり動作速度は低下します。また同時に信頼性も低下します。

Stellar Drive Monitor は、HDD 本体の温度を継続的に検知することができるので、必要に応じて特定の限界を超えた温度の上昇について警告を発するように設定することができます。

4. HDD 上の不良セクタを推定する機能を持っていますか？

はい、不良セクタを推定できます。すべてのブロックを分析し、その結果により、不良セクタ数を算出します。

スキャンディスク機能を使用すると、HDD 全体の詳細なスキャン（Deep Scan）を行ない、不良セクタの数を確認することもできます。

5. なぜ HDD のクローン（複製）が必要なのですか？

HDD の使用頻度が高く継続的に使用しているために、システムをシャットダウンする機会が無かったり、HDD 内の不良セクタの数が増加して、ディスクの正常な動作が妨げられたりすると HDD のデータは失われます。HDD の不適切な動作を避け、データの安全を維持するためには、バックアップをとることが必須です。HDD のクローンを作成することもその一つの方法です。

Stellar Drive Monitor の”クローンディスク”機能を使用すると、切迫した問題を回避するためのクローン作成を容易にすることができます。

6. 容量の小さな HDD にクローン（複製）することは出来ますか？

いいえ、送り先は、送り元と比較して容量が大きいことが必要です。

7. Stellar Drive Monitor が選ばれる理由は？

Stellar Drive Monitor は、不要なデータ損失からユーザーを守るための予防的な手段です。HDD の正常度とパフォーマンスを監視し、ほとんどの場合、データ損失への筋道が確定する前に予知し警告を発します。



Stellar Repair for Photo

救出データ復元 12 STANDARD および BASIC には本機能はありません。

1. Stellar Repair for Photo について

Stellar Repair for Photo は、破損または損傷した画像ファイルを修復するための高度なソリューションを提供します。ソフトウェアは複数の画像フォーマットをサポートし、ハードディスク、メモリカード、またはその他のストレージメディアから画像ファイルを修復できます。

本製品は、インタラクティブなグラフィカルユーザーインターフェイスになっており、誰でも簡単に指示に従って、数回クリックするだけで破損した画像ファイルを取得できます。これによって、専門家の支援なしでツールを操作することができます。

主な機能:

1.対応形式:

- ・標準形式: HEIC (iPhone and Android)、JPG、JPEG
- ・Raw 形式: ARW、CR2、CRW、DNG、ERF、MRW、NEF、NRW、ORF、PEF、RAF、RW2、SR2、SRF、TIFF、SRW、BAY、RAW

2.バッチ修復: 単一の修復サイクルで画像ファイルを修復するのに効果的です。

3.効果的な JPEG 修復: 破損したヘッダーと無効な JPEG ファイル構造を修復します。

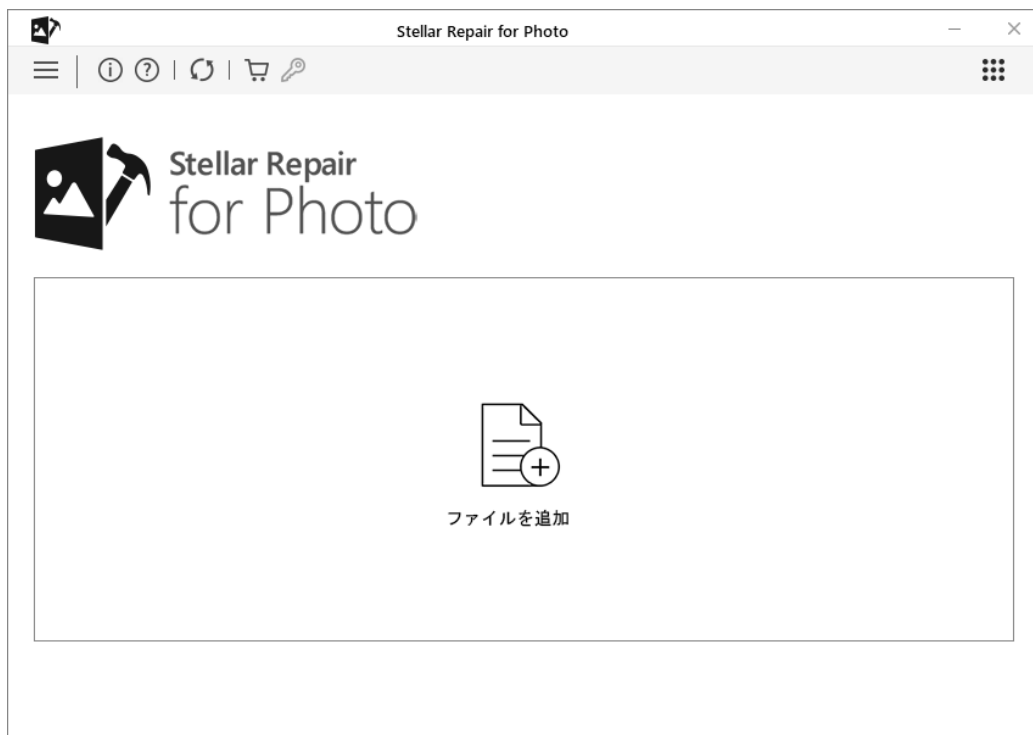
4.サムネイルの抽出: 画像ファイルが修復できない場合、ファイル内に存在するサムネイルを抽出するオプションです。

5.保存前のプレビュー: 保存する前に修復した画像ファイルをプレビューするオプションです。

6.対応 OS: Windows 11, Windows 10, Windows 8.1

2. ユーザーインターフェイス

本製品を起動すると以下の画面が表示されます。



「Stellar Repair for Photo」の追加ツールにすばやくアクセスするには、メインインターフェイスの右上にある「他のツール」ボタンをクリックします。

2.1. ボタン



ファイルを追加





ファイルを追加


クリックすると「画像を選択」ダイアログが表示されます。修復したい画像ファイルを選択してください。選択したファイルはリストに登録されます。

追加

追加
クリックすると「画像を選択」ダイアログが表示されます。修復したい画像ファイルを選択してください。選択したファイルはリストに登録されます。

その他のボタン

| | | |
|---|-----------|------------------------------|
|  | 本製品について | クリックすると本製品に関する情報が表示されます。 |
|  | ヘルプ | クリックするとヘルプが表示されます |
|  | 購入 | クリックすると本製品の購入ページが表示されます。 |
|  | アクティベーション | クリックすると、アクティベーション画面が表示されま。 |
| 高度な修復 | 高度な修復 | 大きく破損した画像を修復するときに使用します。 |
| 停止 | 停止 | クリックすると、修復を停止します。 |
| 修復 | 修復 | クリックすると、修復を開始します。 |
| 修復したファイルを保存 | 保存 | クリックすると、修復したファイルを保存します。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 全て選択 | 全て選択 | リストに追加されたファイルすべて選択、または解除します。 |

| | |
|--|---|
| ☑ サムネイルを表示 | サムネイルを表示 クリックすると、画像ファイルのサムネイルの表示/非表示を切り替えます。 |
|  | 戻る クリックすると、前の画面に戻ります。 |

3. ソフトウェアの使い方

3.1. 画像ファイルの追加

3.2. 画像ファイルの修復

3.3. 高度な修復

3.4. 画像ファイルのプレビューと保存

3.1. 画像ファイルの追加

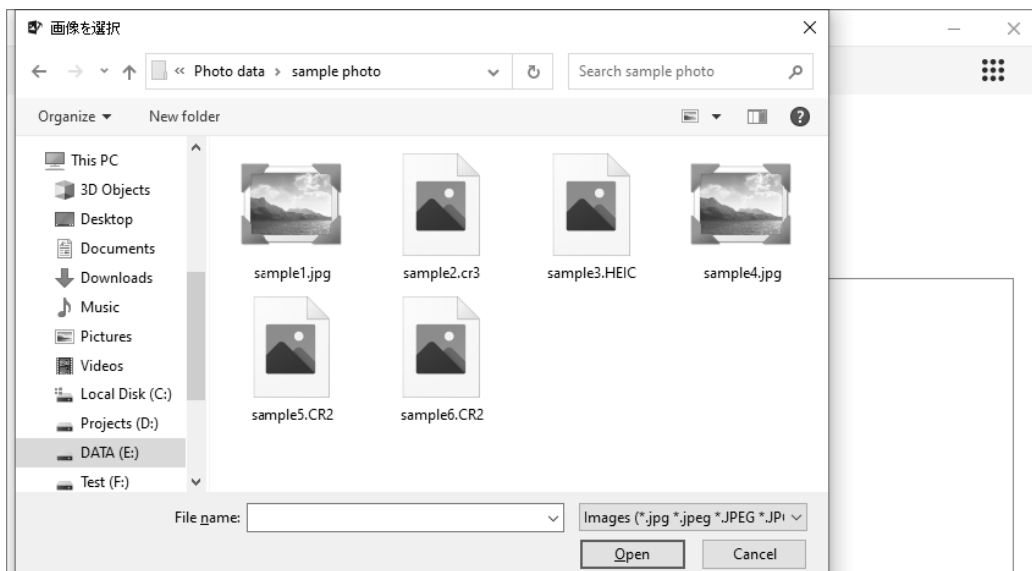
本製品は破損した画像ファイルを修復し、指定した場所に保存します。「ファイルを追加」ボタンから、単一または複数の修復するファイルを選択できます

画像ファイルの追加は以下の手順で行います。

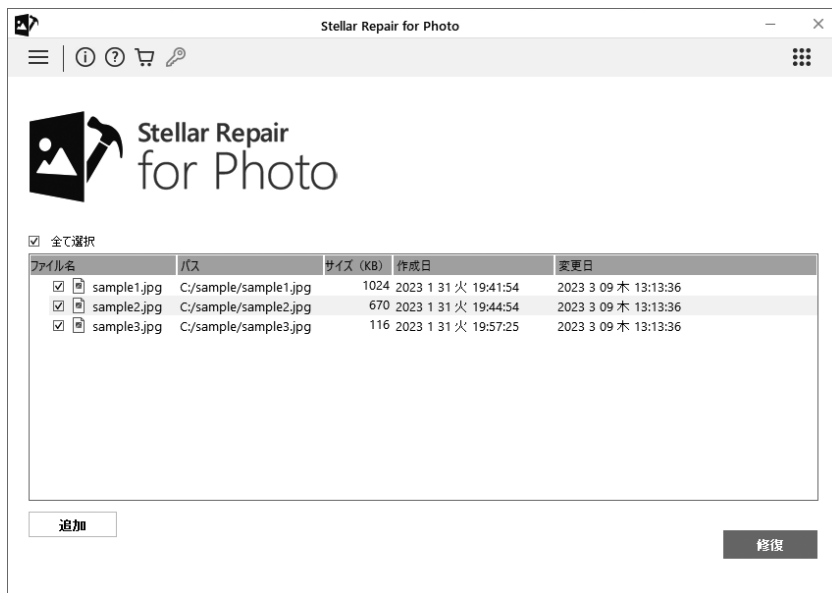
1. 本製品を起動し、「ファイルを追加」ボタンをクリックします。



2. 画像を選択ダイアログが開きます。画像ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。ファイルは複数追加できます。



3. 選択したファイルが以下のように表示されます。

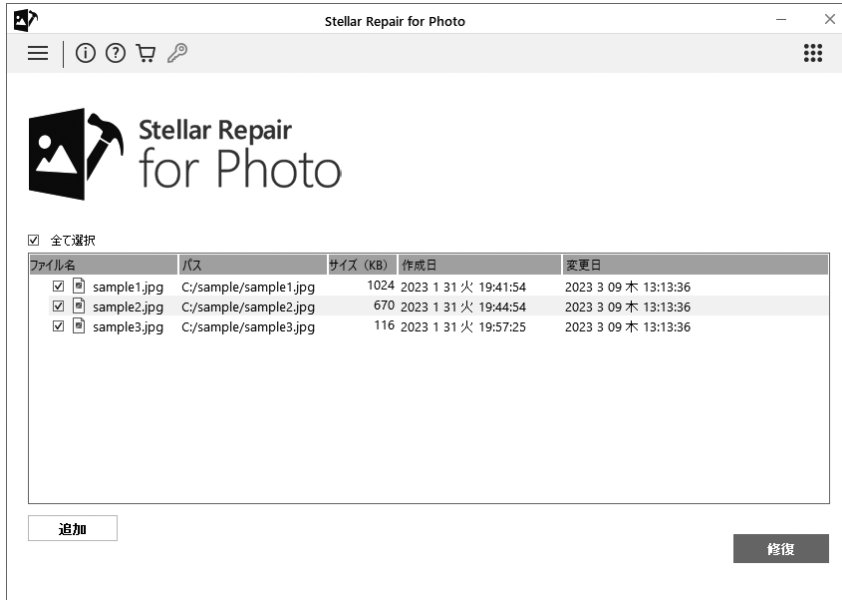


4. 修復する画像ファイルをさらに追加したい場合は、「追加」をクリックします。後から追加した画像ファイルは、先に選択した画像ファイルとともにメイン画面一覧に表示されます。

3.2. 画像ファイルの修復

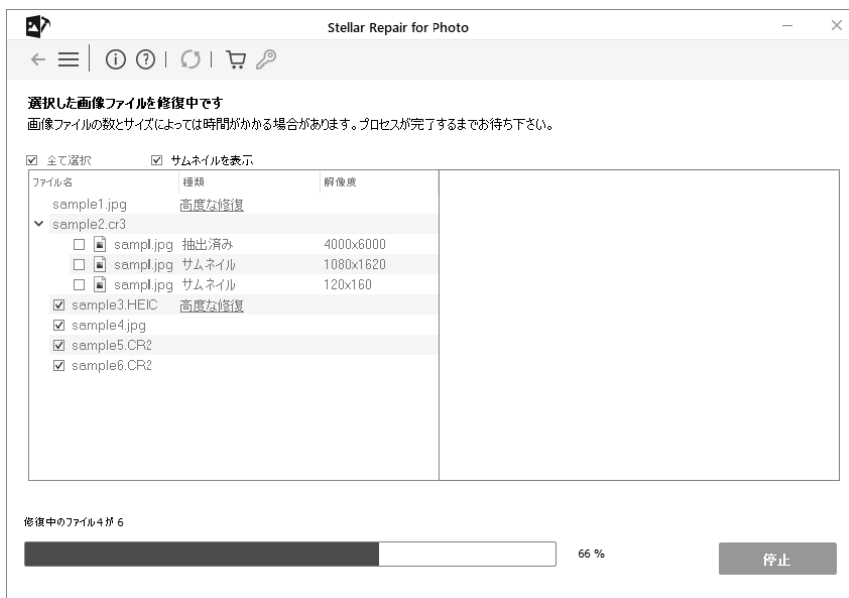
修復するファイルを追加すると、以下のようなウィンドウが表示されます。

1. 本製品を起動し、「ファイルを追加」ボタンから修復する画像を登録します。

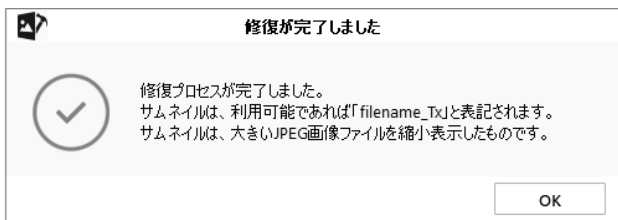


2. リストから修復したいファイルにチェックを付けます。「全て選択」をクリックすると、全ファイルの選択または選択を解除します。

3. 「修復」ボタンをクリックすると修復がはじまります。



4. 修復が完了すると、以下の画面が表示されますので「OK」をクリックします。



3.3. 高度な修復

画像ファイルが大きく破損している場合は、サンプルファイルを追加することで修復を行うこともできます。高度な修復は、JPEG / JPG / HEIC ファイルでのみ使用できます

サンプルファイルは、破損したファイルと同じデバイスで作成された、同一形式のファイルです。サンプルファイルのサイズに制限はありません。本製品がサンプルファイルの情報を参照し、破損したファイルを修復します。



修復用のサンプル JPEG ファイルを追加するには:

1. ファイル修復後、リスト内の「種類」の項目の「高度な修復」をクリックします。
- 2.以下のダイアログが開きますので、「次へ」をクリックします

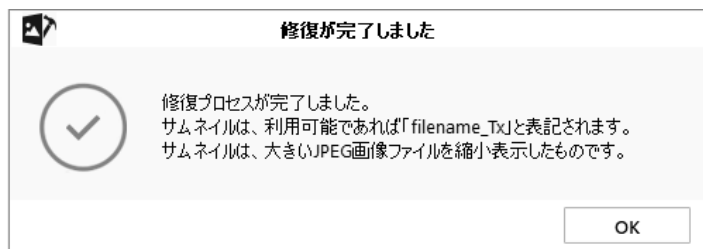


3. 「参照」 ボタンをクリックして、任意の場所からサンプルファイルを選択します。リスト内の破損した JPEG ファイル全ての修復にこのサンプルファイルを使う場合は、「同一形式の全 JPEG ファイルに適用」 にチェックをつけ、「修復」 ボタンをクリックします



4. プログレスバーが、ファイルの修復の進行状況を表示します。中止したい場合は、「中止」 ボタンをクリックします

5. 修復が完了した旨のダイアログが表示されます。



修復用のサンプル HEIC ファイルを追加するには

1. 画像ファイルのリストから、「形式」 から「高度な修復」 リンクをクリックします
2. ダイアログボックスが表示されるので、「次へ」 をクリックします。



3. 「参照」 をクリックして、必要なサンプルファイルを選択します。

注：「標準」 の HEIC ファイルを修復するには、「標準」 サイズの HEIC サンプルファイルが必要です。「正方形」 の HEIC ファイルを修復するには、「正方形」 サイズの HEIC ファイルが必要です。

4. 「修復」 ボタンをクリックして修復プロセスを開始します



5. プロGRESSバーは、ファイルの修復の進行状況を表示します。進行中のプロセスを停止する場合は、「停止」 をクリックします

6. 「修復が完了しました」 ダイアログが表示されます

3.4. 画像ファイルのプレビューと保存

修復した画像ファイルを選択して、目的の場所に保存できます。

修復したファイルを保存するには

1. プレビューウィンドウで、左側のペインからファイルを選択して表示します。
2. 左側のペインで、保存する必要があるファイルを確認します。
3. ファイルのサムネイルと抽出/修復された画像は、元のファイルと一緒にプレビューウィンドウに表示されます。サムネイル/抽出したファイルの表示/非表示をオン/オフにすることができます。

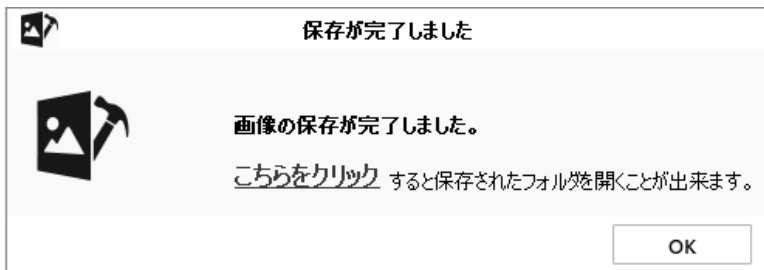
注: 本製品は、HEIC ファイル形式のプレビューをサポートしていません。



4. [修復したファイルを保存]をクリックします。 [フォルダの選択]ダイアログボックスが表示されます。

5. ダイアログボックスで画像ファイルの保存場所を選択し、[OK]をクリックします。

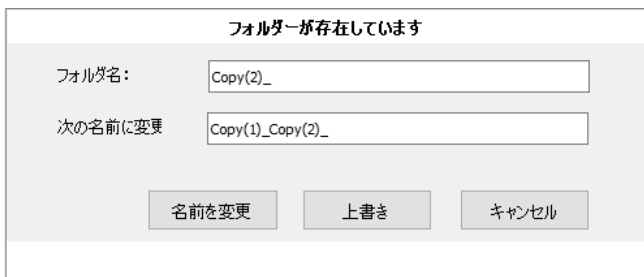
6.修復されたファイルフォルダは、指定された場所に自動的に作成されます。[こちらをクリック]をクリックして、修復されたファイルが保存されているフォルダを開きます。



7. [OK]をクリックしてメッセージボックスを閉じます。

修復されたファイルが同じ場所に保存されている場合、[フォルダの存在]ダイアログが表示され、ファイルの名前を変更/上書きするオプションが表示されます。

- ・フォルダの名前を変更する場合は、[名前の変更]をクリックします。フォルダは指定した場所に保存されます



- ・以前に修復したファイルフォルダを新しいフォルダに置き換える場合は、[上書き]をクリックします。
 - [ファイルが存在します]ダイアログボックスが開きます。
 - 画像の名前を変更する場合は、[名前の変更] / [すべての名前を変更]をクリックします。
 - 以前の画像を上書きする場合は、[上書き] / [すべて上書き]をクリックします。
 - アクションを実行しない場合は、[スキップ] / [すべてスキップ]をクリックします。



注:: 修復された画像ファイルのサムネイル（利用可能な場合）は、修復されたファイルフォルダ内の別のフォルダに保存されます。

4. よくある質問

1. サムネイル とは何ですか？

画像のおおまかな見た目が分かる、小さな画像ファイルです。

2. JPEG とは何ですか？

デジタル画像ファイルで、非可逆圧縮形式である JPEG/JPG 規格を策定した Joint Photographic Experts Group に由来します。

3. HEIC とは？

HEIC ファイルには、iOS デバイスに写真を保存するために一般的に使用されるファイル形式である高効率画像形式 (HEIF) で保存された 1 つ以上の画像が含まれています。

4. RAW 画像とは何ですか？

RAW 画像は圧縮されていないデジタル写真で、カメラが撮った画像をそのままデータとして保存したものです。RAW 画像は JPEG 形式よりもサイズが大きくなりますが、そのぶん画質が高くなっています。

5. 本製品で修復した画像ファイルは同じファイル形式になるのでしょうか？

いいえ。本ソフトウェアは、画像ファイルを JPG 形式で修復します。

6. 修復する JPEG ファイル選択時に、「無効な画像」のメッセージが表示されるのはなぜですか？

修復できないファイルの場合表示されます。画像ファイルは、ファイルのコンテナと画像データという 2 つの部分から構成されます。コンテナとは JPEG 画像を定義する入れ物で、コンテナが破損していると本製品ではそのファイルを JPEG ファイルとして識別することが不可能になるため、「無効な画像」のメッセージが表示されます。こうした画像を修復することはできません。

7. NAME_T1.jpg、NAME_T2.jpg とは何ですか？

サムネイルの画像です。修復するファイルにサムネイルが含まれている場合、リストにあわせて表示されます。こうしたサムネイル画像には IMAGE_NAME_T1.jpg といった名前がつきます。ひとつの画像に 4 つのサムネイルがある場合は、ファイル名_T1.jpg、ファイル名_T2.jpg、ファイル名_T3.jpg、ファイル名_T4.jpg という名前で一覧表示されます。

8. 完全に修復できない JPEG ファイルがあるのはなぜですか？

画像ファイルは、ファイルのコンテナと画像データという 2 つの部分から構成されます。コンテナとは JPEG 画像を定義する入れ物で、コンテナが破損していると本製品ではそのファイルを JPEG ファイルとして識別することが不可能になるため修復できません。

また、コンテナが破損しておらず画像データが破損している場合、画像を修復できますが、修復された画像は例えば色や画像の一部が失われたような不完全なものになります。これは画像データが破損していることが原因です。



Stellar Repair for Video

救出データ復元 12 STANDARD および BASIC には本機能はありません。

1. Stellar Repair for Video について

Stellar Repair for Video は、破損または損傷した動画ファイルを修復するための高度なソリューションを提供します。ソフトウェアは複数の動画形式をサポートし、ハードディスク、メモ리카ード、またはその他のストレージメディアから動画ファイルを修復できます。

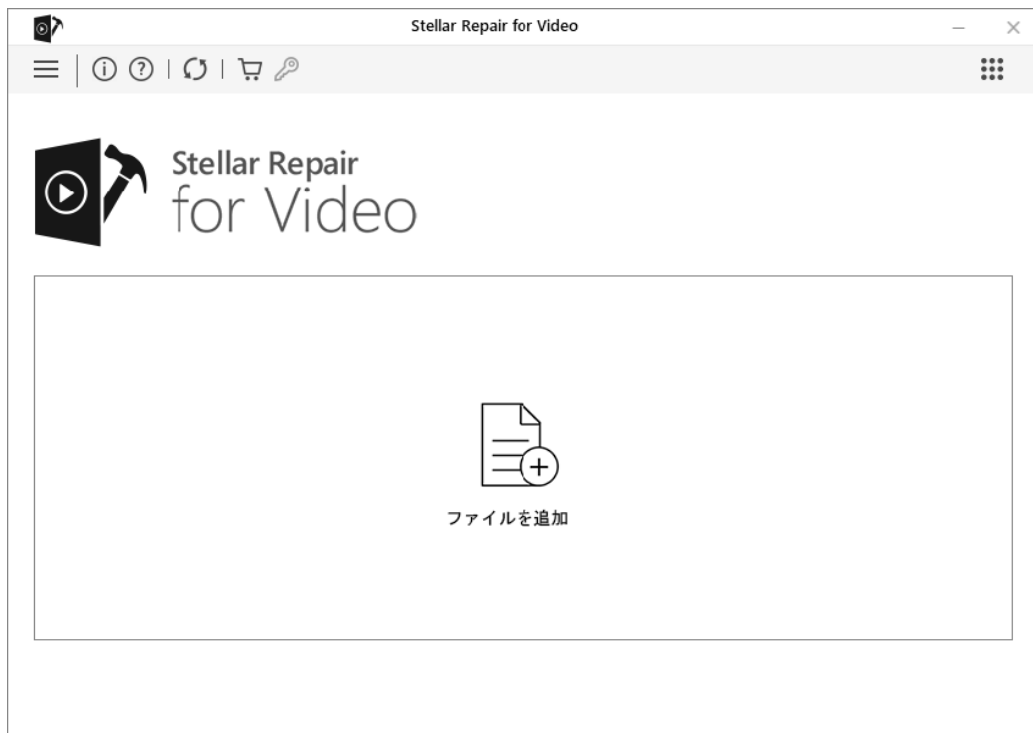
本製品は、対話型のグラフィカルユーザーインターフェイスになっており、誰でも簡単に指示に従って、数回クリックするだけで破損した動画ファイルを取得できます。これによって、専門家の支援なしでツールを操作することができます。

主な機能:

- 対応形式: AVI、ASF、WMV、MKV、FLV、DIVX、WEBM、MJPEG、MPEG、AVCHD、MTS、MOV、MP4、M4V、3G2、3GP、F4V
- バッチ修復: 単一の修復サイクルで動画ファイルを修復するのに効果的です。
- 複数のビデオ関連の問題を修復: ヘッダー、ビデオフレーム、サウンドセクションの破損、またはビデオの動きやビデオスライダーの動きのエラーを修復します。
- 高度な修復: 高度な修復で、著しく破損した動画ファイルを修復できます。サンプルファイルを追加することで、このようなファイルを修復できます。
- 保存前のプレビュー: 保存する前に修復した動画ファイルをプレビューするオプションです。
- 対応 OS: Windows 11, Windows 10, Windows 8.1

2. ユーザーインターフェイス












本製品を起動すると以下の画面が表示されます。



「Stellar Repair for Video」の追加ツールにすばやくアクセスするには、メインインターフェイスの右上にある「他のツール」ボタンをクリックします

2.1. ボタンの使い方

Stellar Repair for Video で使用する必要のある一般的なボタン/アイコンは以下の通りです。

| | | |
|--|-------------|---------------------------------|
|  ファイルを追加 | ファイルを追加 | このボタンをクリックして、修復したい動画ファイルを追加します。 |
|  | 本製品について | クリックすると本製品に関する情報が表示されます。 |
|  | ヘルプ | クリックするとヘルプが表示されます |
|  | 購入 | クリックすると本製品の購入ページが表示されます。 |
|  | アクティベーション | クリックすると、アクティベーション画面が表示されます。 |
|  | 戻る | クリックすると、前の画面に戻ります。 |
|  | 停止 | クリックすると、修復を停止します |
|  | 追加 | このボタンをクリックして、修復したい動画ファイルを追加します。 |
|  | プレビュー | クリックすると、選択したファイルをプレビューします。 |
|  | 修復 | クリックすると、修復を開始します。 |
|  | 修復したファイルを保存 | クリックすると、修復したファイルを保存します。 |

3. ソフトウェアの使い方

3.1. 動画ファイルの追加

3.2. 動画ファイルの修復とプレビュー

3.3. 高度な修復

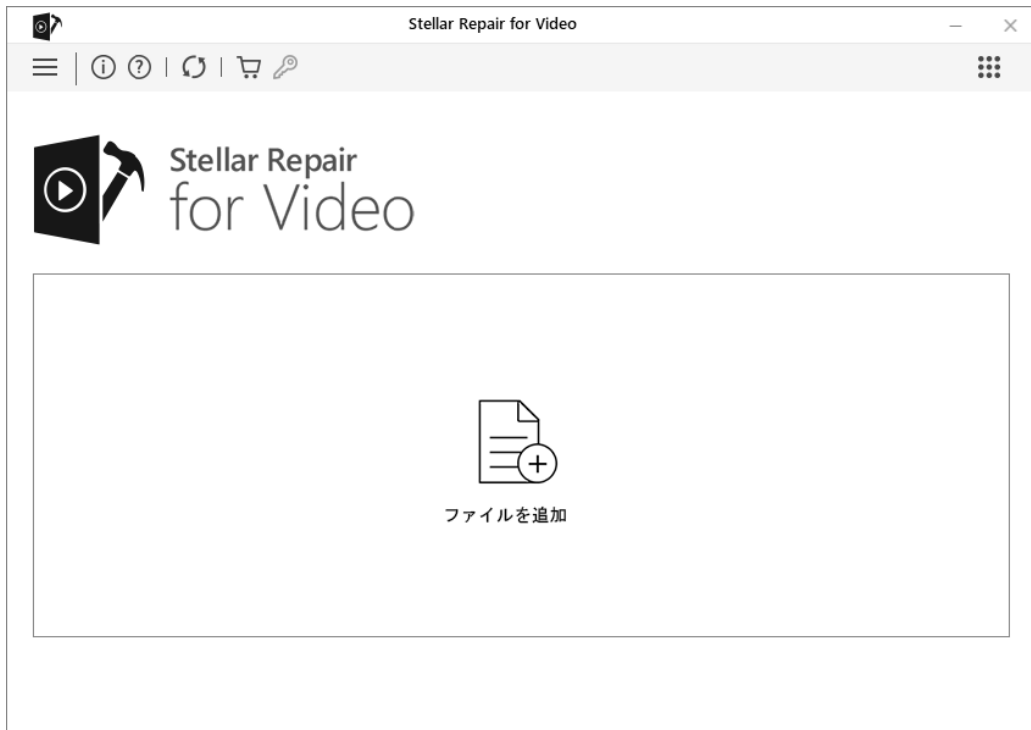
3.4. 修復したファイルを保存

3.1. 動画ファイルの追加

Stellar Repair for Video を使用すると、単一または複数のビデオを単一のインスタンスで修復できます。

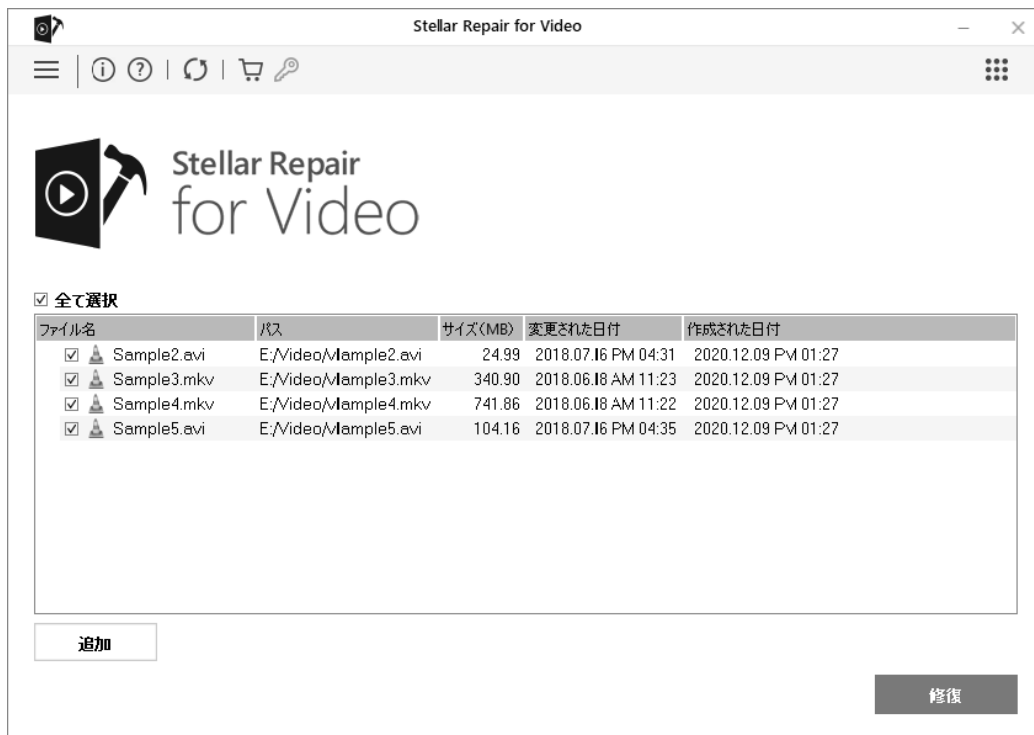
修復する動画を追加するには

1. Stellar Repair for Video. を実行します。
2. メイン画面から、[ファイルの追加]ボタンをクリックして、修復するファイルを追加します



3. [ファイルの追加]ダイアログボックスが表示されます
4. 参照して、必要なビデオをリストに追加します。複数のファイルを追加して修復できます。
5. 選択したビデオは、リストとして表示されます。

6.それぞれのチェックボックスをクリックして、修復するファイルを選択します。



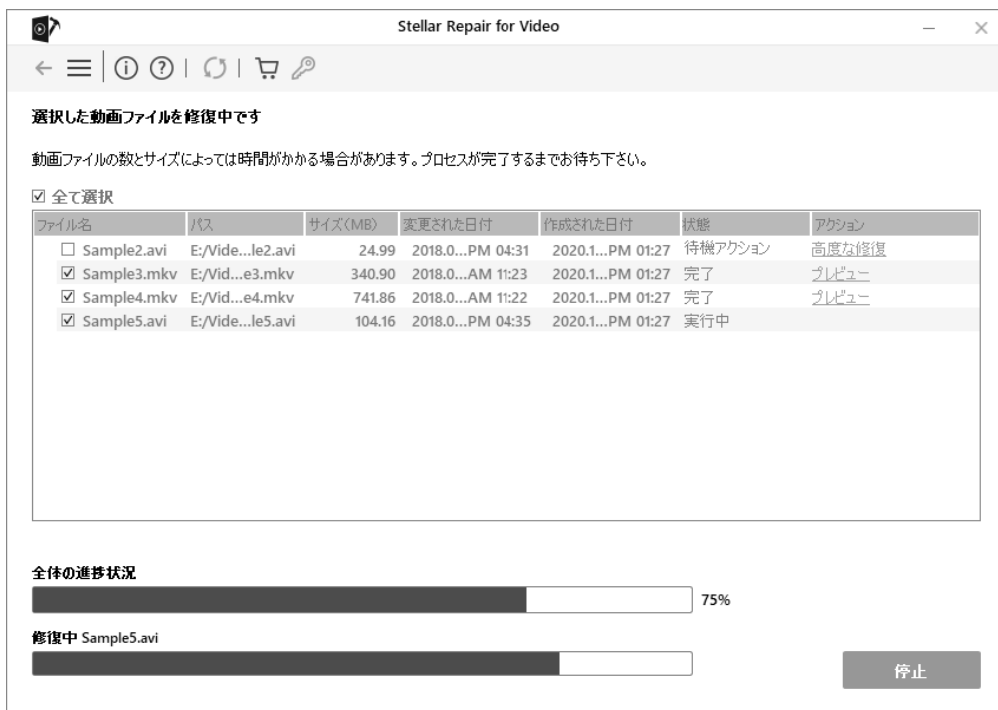
7.動画ファイルをさらに追加したい場合は、[追加]ボタンをクリックして、ファイルをリストに追加できます。

8.ファイルがリストに正常に追加されたら、ファイルを修復、プレビュー、および目的の場所に保存できます。

3.2. 動画ファイルの修復とプレビュー

選択したファイルを修復するには

1. 選択したファイルを修復するには、[修復] ボタンをクリックします。選択したファイルの修復は、ツールによって実行されます
2. 進行状況バーは、ファイルの修復の進行状況を示します。実行中のプロセスを停止する場合は、[停止]ボタンをクリックします。



3. 修復されたファイルのステータスは、[ビデオファイルのリスト]画面から確認できます
 - o 正常に修復されたファイルは、完了ステータスで表示されます。
 - o 非常に破損しているファイルは、高度な修復が必要です。これらのファイルは[アクション待ち]ステータスを表示します。詳細については、[事前修理]をクリックしてください。
 - o 修復プロセスを停止すると、[中止]ステータスが表示されます。

4. [修復プロセスが完了しました]というメッセージが表示されます。



修復したビデオをプレビューするには

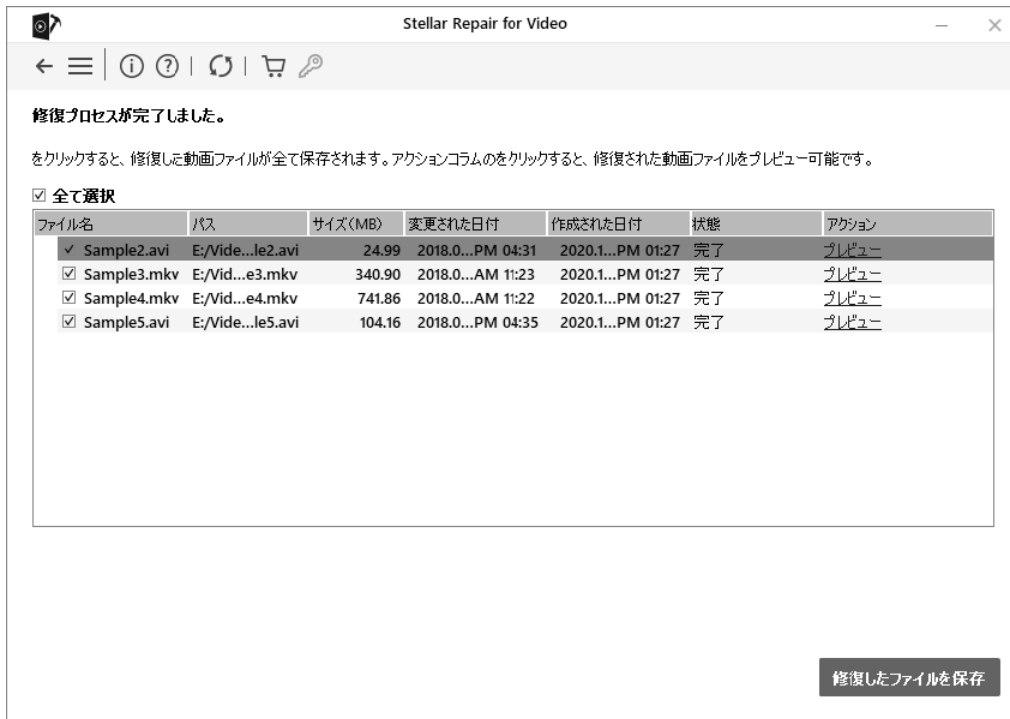
1. ビデオファイルをプレビューするには、[アクション]属性の下の[プレビュー]ボタンをクリックします。



注: デモ版では、修復されたファイルの部分的なプレビューが表示されます。

3.3. 高度な修復

動画ファイルが大きく破損している場合は、サンプルファイルを追加することで修復を行うこともできます。高度な修復は「待機アクション」状態のファイルにのみ実行可能です。



サンプルファイルは、破損したファイルと同じデバイスで作成された、同一形式のファイルです。サンプルファイルのサイズに制限はありません。本製品がサンプルファイルの情報を参照し、破損したファイルを修復します。ヘッダが破損した動画ファイルの修復も可能です。

サンプルファイルを追加するには

1. 動画ファイルのリストの、「アクション」の項目の「高度な修復」をクリックします。

2.以下のダイアログボックスが開きますので、「次へ」をクリックします。



3.「参照」ボタンをクリックして、任意の場所からサンプルファイルを選択します。

4.リスト内の破損した動画ファイル全ての修復にこのサンプルファイルを使う場合は、「同一形式の全ファイルに適用」にチェックをつけ、「修復」ボタンをクリックします。



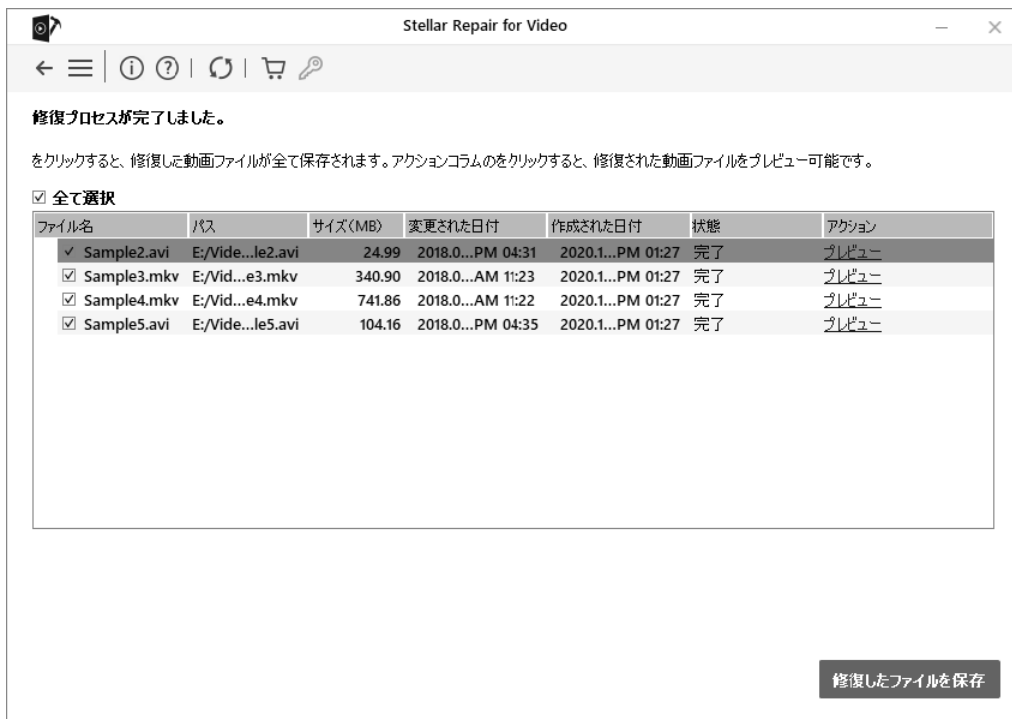
5.プログレスバーが、ファイルの修復の進行状況を表示します。中止したい場合は、「中止」ボタンをクリックします。

6.修復が完了した旨のダイアログが表示されます。

3.4. 修復したファイルを保存

修復したファイルを保存するには

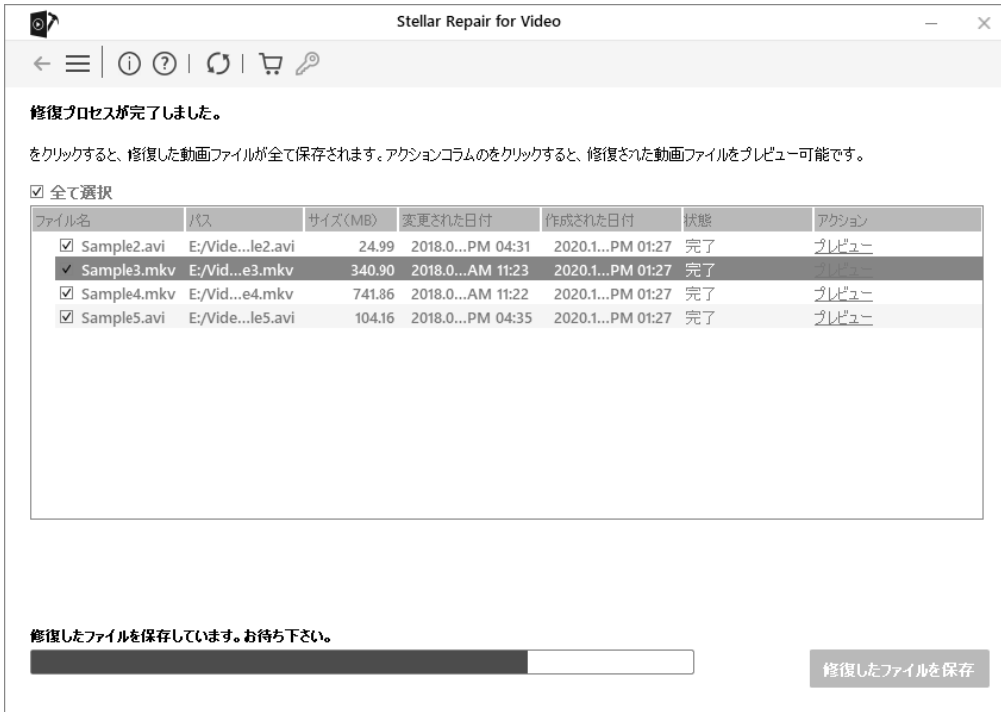
1. 修復後に表示されるリストから、保存するファイルにチェックをつけます。
2. 「修復したファイルを保存」ボタンをクリックします。



3. 以下のダイアログが表示されます。元の場所にファイルを保存する場合は、「修復されたファイルをソースの場所に保存する」を選択します。任意の場所に保存する場合は、「場所を指定してファイルを保存する」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。



4.進行状況バーが、ファイルの保存プロセスの進行状況を表示します。



Stellar Repair for Video

修復プロセスが完了しました。

をクリックすると、修復した動画ファイルが全て保存されます。アクションコラムのをクリックすると、修復された動画ファイルをプレビュー可能です。

全て選択

| ファイル名 | パス | サイズ(MB) | 変更された日付 | 作成された日付 | 状態 | アクション |
|---|-------------------|---------|-------------------|-------------------|----|-------|
| <input checked="" type="checkbox"/> Sample2.avi | E:/Vide...le2.avi | 24.99 | 2018.0...PM 04:31 | 2020.1...PM 01:27 | 完了 | プレビュー |
| <input checked="" type="checkbox"/> Sample3.mkv | E:/Vid...e3.mkv | 340.90 | 2018.0...AM 11:23 | 2020.1...PM 01:27 | 完了 | プレビュー |
| <input checked="" type="checkbox"/> Sample4.mkv | E:/Vid...e4.mkv | 741.86 | 2018.0...AM 11:22 | 2020.1...PM 01:27 | 完了 | プレビュー |
| <input checked="" type="checkbox"/> Sample5.avi | E:/Vide...le5.avi | 104.16 | 2018.0...PM 04:35 | 2020.1...PM 01:27 | 完了 | プレビュー |

修復したファイルを保存しています。お待ち下さい。

修復したファイルを保存

5.保存が完了した旨のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じます



Stellar Repair for Video

修復したファイルの保存に成功しました。

OK

4. よくある質問

1. ファイルの修復にかかる時間はどれくらいですか？

動画ファイルの修復にかかる時間は、選択した動画ファイルの数とサイズによって決まります。

2. 修復プロセスでは、動画ファイルになんらかの変更が加えられますか？

いいえ。修復プロセスの完了後、修復されたファイルをソースの場所または指定した場所に保存できます。

3. Mac でも修復した動画ファイルを再生できますか？

ファイル形式によります。一般的なファイルは再生できますが、非対応のファイルは再生できません。

使用許諾条件書

本使用許諾条件書(以下「本規約」)は、本製品をお客様に使用していただく前提となる条件を記載したものです。本製品のインストールを実行する前に、まず本規約をよくお読みください。

本規約にご同意していただけない場合には、本製品の複製またはインストール等の使用を実行せず、ご購入後30日以内に領収書と共に、弊社にご返却ください。(ダウンロード版の場合は、ダウンロードプログラムを削除してください)製品代金を返金いたします。本製品の複製またはインストールを実行された後は、第6条に定める他は返金・交換には応じられませんので、ご了承ください。

本規約は民法548条の2が定める定型約款に該当し、本製品の複製またはインストール等の使用を実行された時点で、本規約の各条項に同意したものとみなされますので、ご了承ください。本規約にご同意頂いたお客様は、弊社指定の方法でユーザー登録をすることをおすすめします。

第1条 (使用許諾等)

弊社は、お客様が本規約に同意し遵守されることを条件として、本製品中のソフトウェア(以下「本ソフトウェア」)を日本国内で使用する権利をお客様に許諾いたします。また、本製品に同梱する本ソフトウェアに関するマニュアル等の印刷物(以下、「本マニュアル等」)については、お客様が本規約に同意し遵守されることを条件としてお客様に譲渡いたします。弊社は、本ソフトウェアおよび本マニュアル等に関する著作権その他の知的所有権をお客様に譲渡するものではありません。

第2条 (使用条件)

弊社は、本製品1ライセンスにつき、ユーザー1名の弊社が定めるコンピュータ台数に限り、インストールして使用することを許諾いたします。また、お客様は本製品をサーバーハードウェア上へインストール、または保存し、クライアントハードウェアから使用することはできません。

第3条 (禁止事項)

お客様が、以下の各号の行為を行なうことは禁止いたします。

- (1)本ソフトウェアをバックアップの目的以外で複製すること
- (2)本ソフトウェアの改変・結合・リバースエンジニアリング(逆アセンブル等)・解析等
- (3)本ソフトウェアを第三者へ再配布、再使用許諾または公衆送信(送信可能化を含む)すること
- (4)本製品または複製物(本条第1号の目的で複製したか否かを問わない)を譲渡・転売すること(ただし、弊社の承認する者を除く)
- (5)本製品または複製物(本条第1号の目的で複製したか否かを問わない)を貸与・レンタルに類する行為、または中古取引をすること
- (6)本ソフトウェアを使用して他ソフトウェアを個人利用の範囲を超えて無断複製および無断使用すること
- (7)本ソフトウェアを第三者に送信可能な状態でネットワーク上に蓄積すること、また本ソフトウェアを第三者に送信すること
- (8)弊社がお客様に提供する本製品の識別情報(シリアルナンバー等)を第三者への開示・提供すること

第4条 (フィードバック)

お客様は、本製品に関するコメント、提案及び推奨(修正、改良、改善など)(以下、総称して「フィードバック」といいます)を弊社に提供することができます。この場合、お客様は弊社にフィードバックにかかわる著作権(著作権法第27条及び第28条の権利その他の権利を含みます)、特許権、実用新案権、意匠権、商標権等の知的財産権その他一切の権利は、フィードバックを行ったお客様に帰属しますが、フィードバックの提供と同時にソースネクストに譲渡し又はその権利を放棄したものとみなされ、弊社は一切の対価を払うことなく使用等の一切の行為をすることができるものとします。

第5条 (有効期間)

- 1.本規約の効力は、お客様が本製品の複製またはインストール等の使用を行なった時点で発生するものとします。
- 2.お客様が、本規約のいずれかの条項に違反した場合、または弊社の著作権その他の知的所有権を侵害した場合には、弊社はお客様への使用許諾を解除することができます。
- 3.前項によりお客様の使用許諾が解除された場合には、本製品をすみやかにアンインストールし、CD-ROM等の記録媒体を破壊するかお客様のご負担で弊社に返却するものとします(弊社の指示があればこれに従うものとします)。

第6条 (保証範囲)

- 1.本製品の選択および使用効果については、お客様の責任とさせていただきます。また、弊社は、本条以外には、本製品、本マニュアル等、および本条第5項のサポート・サービスに関して一切の保証責任または契約不適合責任を負わないものとします。
- 2.弊社は、本製品にプログラムの使用上支障となる物理的欠陥があり、弊社が当該欠陥につき弊社の責に帰すべき事由があることを確認した場合に、ご購入日から90日以内に限り、無料で別の本製品と交換いたします。
- 3.製品がお客様の動作環境にて正常に動作しない場合、弊社が提供する安心サービスを利用することが可能です。ただし、安心サービスの条件を満たしていることが必要です。(詳しい条件等については、安心サービス規約をご参照ください)
- 4.弊社は、本製品について、本ソフトウェアのプログラムに誤り(バグ等)が存在しないように最大限努力を行いますが、本製品は現状のまま提供されるものであり、弊社は、本製品のバグや不具合の不存在を保証するものではありません。ただし、弊社は、本ソフトウェアのプログラムに誤り(バグ等)があることを弊社が確認し、当該製品の販売中、および販売終了後1年6ヵ月までの間に弊社が当該誤り(バグ等)を修正した場合には、ユーザー登録のあるお客様に対し修正したソフトウェアまたは修正に関連する情報を提供します。ただし、修正したソフトウェアまたは修正に関連する情報を提供することの要否・時期および提供手段等については、弊社にて定めるものとします。
- 修正したソフトウェアにも本規約が適用されるものとします。
- 5.弊社は、お客様がユーザー登録をした場合に限り、本製品に関する弊社所定の製品サポートを提供します。
- 6.いかなる場合であっても、弊社は、本製品がお客様の特定の利用目的に合致することや、特定の結果の実現を保証するものではありません。

第7条 (免責)

- 1.弊社は、本規約の各条項に従って制限された限度においてのみ、本製品についての責任を負うものとします。弊社は、本規約の各条項において保証しないとしている事項、責任を負わないとしている事項、お客様の責任としている事項については、債務不履行責任、不法行為責任その他責任原因を問わず、一切の責任を負いません。
- 2.本製品に関連して、お客様と第三者との間において生じた取引、連絡、紛争等について、弊社は一切の責任を負いません。
- 3.本製品は、システムの一部に外部システムを利用する場合があります。外部システムの利用ができなくなった場合、本製品の利用も不可能となる場

合がありますが、弊社はそれによってお客様に生じた損害について、一切の責任を負いません。

4.弊社の責めに帰すべき事由によって本製品に関してお客様に損害が生じた場合であっても、弊社は弊社に故意または重過失がある場合にのみ損害賠償責任を負うものとします。

5.前項の場合において弊社が負う賠償責任の範囲は、本製品の代金相当額を超えて賠償する責任を負わないこととします。また、付随的損害、間接損害、特別損害、将来の損害及び逸失利益にかかる損害については、賠償する責任を負わないこととします。

6.本規約において弊社の責任を免除または限定する規定が、民法、消費者契約法その他の法令により無効または合意しなかったものとみなされた場合は、弊社は、お客様に対して、お客様に実際に生じた直接的かつ現実の損害を賠償する責任を負うものとします。

第8条 個人情報の取り扱い

弊社は、本製品によりお客様の個人情報を取得する場合、「個人情報の取り扱いについて」に従い、適切に取り扱います。

第9条 本規約の変更

1.弊社は、お客様の一般の利益に適合する場合のほか、社会情勢、経済事情、税制の変動等の諸般の状況の変化、法令の変更、本製品に関する実情の変化その他相当の事由があると認められる場合には、民法548条の4の規定に基づいて、本製品の目的の範囲内で、本製品の内容、条件その他本規約の内容を変更できるものとします。最新の本規約はこちら (<http://www.sourcenext.com/permission/rm2/>) をご覧ください。

2. 弊社は、前項の定めに基づいて本規約の変更を行う場合は、変更後の本規約の内容を、弊社webサイト上に表示し、または弊社の定める方法によりお客様に通知する方法で周知するものとし、相当な期間を経過した日から、変更後の利用規約は適用されるものとします。

3. お客様は、第1項の定めに基づき本規約が変更された後において本製品の利用継続を望まない場合、前項に定める変更後の利用規約が適用される日までの間、弊社が定める方法により、本製品の解約を申し出ることができます。

第10条 (その他)

1.本規約は日本法に従って解釈されるものとします。

2.本製品および本規約に関連する紛争については、東京地方裁判所を第一審専属管轄裁判所とします。

2020年3月31日現在

ソースネクスト株式会社

